

第五十一回帝國議會
衆議院

勞働爭議調停法案(政府提出)外一件(勞働組合法案(政府提出)委員會會議錄(速記)第九回)

會議

大正十五年三月十九日(金曜日)午後一時二十六分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 森田 茂君

理事 杉浦 武雄君

理事 安藤 正純君

理事 藏園三四郎君

理事 山口 政二君

高橋元四郎君

木槍三四郎君

内ヶ崎作三郎君

比佐 昌平君

木暮武太夫君

有馬 賴寧君

渡邊 伍君

秦 豐助君

本多貞次郎君

原 惣兵衛君

三月十八日暴力行為等處罰ニ關スル法律案(政府提出)ノ審査ヲ本委員ニ付託セラレタリ

出席政府委員左ノ如シ

司法政務次官 本田 恒之君

司法省刑事局長 立石 謙輔君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

勞働組合法案(政府提出)

暴力行為等處罰ニ關スル法律案(政府提出)

○森田委員長 ソレデハ是カラ會議ヲ開キマス、本日ハ暴力行為等ノ處罰ニ關スル法律案ノミノ審議ヲ致シタイト思ッテ居リマス、故ニ此案ニ付キマシテハドウ云フ順序ヲ取リマセウカ、別ニ說明ヲ政府ノ方カラ承ル必要ハナイヤウニ思ヒマスガ……

(省略「ト呼フ者アリ」)

○森田委員長 ソレデハ昨日日本會議デ政府ガ說明ニナッテ居リマスカラ、別ニ求メナイコトニ致シマシテ、直チニ質問ニ入ルコトニ致シマス

○本多委員 團體ト云フ定義ヲ伺ヒタイト思ヒマス、詰リ何人位ヲ以テ團體ト云フノデアリマスカ、又「團體若ハ多衆ノ威力」云々トアリマスカ、多衆ト團體ト違フ意義ヲ一ツ御答ヲ願ヒマス
○立石政府委員 精確ニ御答出來ルカドウカ分リマセヌガ、チト問題ノ言葉デアルカモ知レマセヌガ、團體ト云フ言葉ノ用例モ、既成法律ニモ澤山アリマスシ、ソレ等カラ推シテ見マス、矢張特定多數人ノ結合體トデモ申シマセウカ、一ツノ矢張組織體ヲ爲スモノ、斯ウ申上ゲテ置イタル宜カラウト思ヒマス、其數ニ至リマシテハ必ズシモ數百人數千人ナクトモ、或ハ極メテ少イ者モ團體ト言ヒ得ルカモ知レマセヌ、結合體、組織體ヲ成シテ居ル以上ハ――

例ヲ引キマストドウカト思ヒマスガ、例ヘバ能ク講釋ニアリマス五人男トカ何トカト云フ一ツノ組織體デモ組織シテ居ルトスレバ、是ハ矢張入レテモ差支ナイデハナイカト思ヒマス、極ク小サナモノヲ考ヘテ見マスレバ、多衆ノ方ハ是ハ矢張相當ノ多衆ト云フコトノ數デ以テ、其相手方ノ意思ト申シマセウカ、信念ト申シマスカ、意思ニ多少ノ壓迫ヲ感ゼシムルダケノモノヲ多衆ト云フノデ、是モ何人以上ト云フコトニ正確ニ申上ゲルコトハムツカシイガ、先ヅ普通社會ノ一般ノ觀念カラ考ヘテ見テ多衆ト見ルノデ、此方ハ別ニ團體ト違ヒマシテ、必シモ組織體ヲ成シテ居ラナイデ、一時的ノ集合デモ宜シイ、此事ハ矢張既成法律ニ存在スル言葉デアリマシテ、ソレト別ニ變ッテ意味ハナイ積リデゴザイマス、序ニ申上ゲテ置キマスガ、此僅カ三ヶ條ノ規定デゴザイマスガ、此中ニ使ハレテ居ル言葉ハ、殆ド總テ既成法律ニ用ヒテ居ル用語バカリヲ用ヒテ居ルノデ、新シイ言葉ハ殆ド使ッテ居ラヌ積リデアリマス、ソレダケ一寸念ノ爲ニ御參考ニ申上ゲテ置キマス
○田中委員 是ハ調ベレバ直グニ分ラウト思ヒマスガ、甚ダ横著デスガ教ヘテ戴キタイノデアリマス、大體説明等ヲ伺ヒマシタ所デ、此法案ノ御提出ノ御趣旨トモ申スベキコトハ、親告罪デアッタモノヲ親告罪デナクスルト云フコトガ非常ナ重大ナ理由ノ一デアッタト思ヒマス、サウスルト、茲ノ第一條以下ニ掲ゲテアリマスル犯罪行為ガ、從來ノ刑法其他ノ處罰法ニ矢張總テ載ッテ居ルモノ、ミデゴザイマセウガ、所謂親告罪デアッタモノガ親告罪ニアラザル普通ノ犯罪トシテ茲ニ掲ゲラレ、且ツ稍其罪ノ程度ヲ重クシタト云フコトダケデアッテ、ソレガ新シク今迄ノ犯罪行為デナカッタモノガ、此法律ニ依テ又一ツ數ヘ上ゲラレテ來タカドウカト云フコトガ一ツノ御尋ト、ソレカラ今一ツハ私ノ讀方ガ惡イカドウカ分リマセヌガ、第一條ハ只今モ御話ノ如ク、團體若クハ多衆ト云フコトヲ冠ニシテアリマスガ、要スルニ多衆ノ者ヲ背景ト致シマス犯罪、第二條モ前條第一項ノ方法ニ依ルト云フ言葉ガ加ッテ居リマスカラ、矢張團體若ハ多衆ト云フコトノ條件ガ加ハラナケレバ第二條モ矢張犯罪ニナラナイノデアリマス、唯第二項ニ至ッテ常習云々ト云フコトガアル、常習ト云フコトハ今度團體又ハ多衆ト云フコト、離レテノ御趣旨トハ思ヒマスケレドモ、何トナク二項ニチヨコリ附則ノヤウナ規定デ

アッテ、ソレダケガ單獨ニ個人トシテノ
犯罪ノ場合ニ當ルト云フコトガ、何ダ
カ法律ノ體裁上了解シ惡イコト、思ヒ
マスケレドモ、是ハ無論サウ云フ意味
ダラウト讀メルノデアリマスケレド
モ、私ノ今ノ解釋トシテ誤ガナイカド
ウカ、此二事ヲ先ヅ伺ッテ置キマス

○立石政府委員 御答ヲ致シマス、今
ノ御問ノ御疑ノ生ズルコトハ御尤ノヤ
ウニ存ジマス、此第一條並ニ第二條ノ
一項ハ何レモ特別ノ方法ニ依ル合力行
爲、是ハ御解釋ノ通りデアリマス、ソレ
カラ同様ニ一條並ニ二條ニソレト二
項トシテ常習云々トアリマス、此常習
ト云フコトハ方法トハ少シ違フヤウデ
ゴザイマスカラ、其點ニ於テ一項ノ中
ニ入レル譯ニ行カナイヤウナ感ジガ致
シマスノデ、ソレデ別ニ項ヲ設ケタノ
デゴザイマスガ、常習ト申シマス、是
モ矢張刑法ナゾノ常習賭博トカ、其言
葉ヲ借リテ來マシタノデ、ソレト同ジ
意味ヲ持ッテ居ルノデゴザイマス、例ヘ
バ第二條ニ付テ申シマスレバ古イ言葉
デアリマスガ、押借「ユスリ」ノ慣行者、
習癖者トカ云フヤウナ者ヲ取締リタイ
ト云フ意味デ使ッタノデアリマシテ、一
面ニ團體トカ多衆トカ云フコトノ背景
ヲ持ッ所ニ列ベテ書クノハ、御説ノ通
リ甚ダ體ヲ得ナイヤウニモ思ヒマスケ
レドモ、一面カラハ團體或ハ多衆ノ行
爲ハ人ノ數カラサウ云フ一種ノ威力ガ
生ズル、ソレヲ利用スル、ソレヲ背景ト

スル、此様ナ意味デアルト同時ニ、此少
數ノ方ハ人ハ一人デゴザイマスケレド
モ、常ニ其様ナ行爲ヲ繰返スト云フコ
トガ世間ニ知ラレテ居ルヤウナ人、是
亦繰返スト云フ行爲、其事ニ依リテ一
種ノ其處ニ威力ト申シマス、恐怖心
ト申シマス、生ジテ來ルト云フヤウ
ニ觀念シ得ルト云フコトカラ、形ハ少
シクオカシイヤウデゴザイマスケレド
モ、入レタ方ガ宜カラウ、是ガ最モ當時
ノ社會狀態ニ照シマシテ處分スルノニ
最モ緊切ノ必要ヲ感ズルト云フコトカ
ラ之ヲ入レタノデアリマス、ソレカラ
モウ一ツ、第一條第二條第三條、此三ケ
條ノ中、一條ト二條トノ罪ハ唯方法目的
ガクツ付ク、サウ云フコトノ條件ガ附加
ハル、第一條ノ刑法ニ在ル犯罪、第二條
ハ警察犯處罰令ニアル罪ヲ其儘持ッテ
來タ、第三條ハ新シク拵ヘタ犯罪デアリ
マス、是ハ治安警察法ト治安維持法ニモ
之ニ似寄ッタコトガアリマス、選舉法
ニモ之ト同ジ言葉ヲ使ッタ新シイ犯罪ガ
一ツ設ケテアル、ソレヲ借リテ來タニ過
ギナイノデアリマス、是ハ全く新シイ是
マデ刑法ニハナカッタモノデアリマス

○田中委員 能ク此法案ノ趣旨ハ了解
致シマシタ、ソレト同時ニ只今モ丁度
御言葉ニ出マシタガ、報告罪デアルガ
故ニ後難ヲ恐レテ申告ヲシナイ場合ガ
多イ、ソレガ爲ニドウモ刑ノ目的ヲ達
スルコトニ於テ甚ダ遺憾ガアルト云フ
コトガ、主ナル理由デ此法案ガ出テ居
ルノハ私共モ尤ニ思ヒマスガ、而シテ
常習トシテ斯ル犯罪行爲ニ出タトカ、
多衆ヲ背景トシテ大ナル威嚇ヲ與ヘタ
ト云フコトハ、所謂ソレニ相應シタ重
イ刑ニ處スルト云フコトノ原因ヲ成ス
譯デアリマスケレドモ、其報告罪デア
ルト否トニ依テ法ノ目的ヲ達スルニ不
十分デアル、其論點カラ見マスト此種
ノ犯罪ハ矢張刑法其他ノ法律ニ於テ處
罰シテ、其犯行ニ付テハ矢張報告罪デ
ナク報告罪ト云フコトヲ總テ撤廢スル
方ガ寧ロ實際ニ適シタ法制デハナカラ
ウカ、殊ニ威嚇サレタ場合、度々威嚇サ
レタ人ハアノ同ジ顔ノ人ガ度々來テ
ヤルノデアルカラ常習犯ダ、或ハ何人
カノ人ノ名前ハ私共時々新聞デ見テ居
リマスケレドモ、併シ今個々ノ場合ニ
威嚇サレタ實際ノ事實ヲ根柢トスル場
合ニ於テハ、威嚇シテ居ル者ガ常習犯
デアルカドウカ分ルマイト思フ、唯威
嚇サレタト云フ事實ガアル、又ソレガ
爲ニ權利ノ執行ニ妨ゲガアルコトガア
リマセウ、義務ノ履行ニ付テモヒドイ
災難ニ遭フコトモアリマセウ、或ル多
衆團體トカ常習トカ云フコトヲ離レ
テ、取除カレタ範圍トスレバ宜シイガ、
矢張其他ノ場合ニ是迄通り報告罪トシ
テ處罰シテ置クノダト云フコトデア
ルト、何ダカ少シソレヲ取殘ス理由ノ方
ガ乏シイヤウニナルノデアリマスガ、
其點ニ付テ御説明ヲ願ヒタイ

○立石政府委員 其點モ多少此案ヲ立
テマスニ付テハ考慮シタノデゴザイ
マスガ、唯一人デ又常習デハナク、此種ノ
犯罪ヲ爲ス場合マデモ非報告罪ニスル
トカ云フヤウナコトニナリマス、刑
法ノ全體ノ根本改正ニナリマス、
是ハ何レ早晚刑法ノ改正ニ著手スルコト
ニナリマスレバ、其節ニ尙ホ整理シテハ
ドウデアラウカ、差當ッテ最モ必要ナ二
人三人ニ依ッテヤル、或ハ常習ヲ以テヤ
ル、兇器ヲ持ッテ來ルト云フモノハ最モ
必要デアルト云フ所カラ、一種ノ緊急的
ノ刑法ノ特別法ヲ拵エタ次第デアリマス
○山根委員 或ハ本會議ニ於テ他ノ方
カラ御質問ガアッテ重複スルカモ存ジマ
セマスガ、本案ヲ理解スル爲ニ一應伺ッテ
置キタイト思フノデアリマスガ、本案
ハ理由書ニ示サレテ居ル通りニ、主ト
シテ團體の背景ヲ持ッ所ノ、刑法ニ規
定サレタ所ノ諸種ノ犯罪ノ罪ヲ重クス
ル點ニ在ルト思ヒマスガ、其團體の背
景ヲ以テ是等ノ犯罪ヲ爲スト云フ、其
團體ガ恐ラク私ノ理解スル所デハ、サ
ウ云フ色々「ユスリ」ヲシタリ、色々
様々ノ事ヲシテ生活ヲシテ居ルト云フ
ヤウナ者ヲ目當テテセラレタノデナイ
カト考ヘルノデアリマスガ、サウ云フ
團體其モノ、目的サヘモ怪シイヤウ
ナ、サウ云フ團體の背景ヲ持ッモノヲ
主トシテ考ヘラレタノデアルカ、若ク
ハ更ニ進ンデサウデナク、若シサウ云
フ此處ニ掲ゲラレタヤウナコトヲ目的
トセズシテ、特殊ノ理想若クハ思想ヲ

以テ行動ヲ爲シツ、アル其者ガ、時偶
斯ウ云フ犯罪ヲ爲スニ至ツタト云フヤ
ウナコトヲ目的トセラレタノデア
カ、雙方ヲ目的トセラル、ノデア
私ハソレヲ明ニシテ置クト云フコト
ハ、例ヘバ同盟罷業ヲ爲シ、或ハ勞働組
合ガ當然爲ス所ノ、最近ニ於テ是ハ國
家ガ公認セントシテ居ル所ノ團體的行
爲デアリマスガ、其時ニ或ハ此處ニ揭
グルヤウナ罪ヲ犯スコトガアルト思
フ、或ハ思想的背景ヲ以テ、國家主義ト
カ、或ハ其他ノ主義ヲ持ツテ其主義ノ實
現ノ爲ニ、其主義ニ反スル所ノ者ヲ抑
懲スル爲カ、或ハ其他ノ目的ヲ以テ此
處ニ掲グルヤウナ罪ヲ犯ス者ガナイト
ハ限ラナイ、斯ウ云フモノヲ目常トセ
ラル、ノデアリマスガ、是等ニ付テノ
大體ノ方針ヲ先ヅ伺ツテ置キタイト思
フノデアリマス

○立石政府委員 本案ノ出來マシタ目
的ト云ヒマセウカ、精神ト申シマセウ
カハ、主トシテ今前段ニ御述ニナツタ所
ノ「ユスリ」トカ「ゴロツキ」トカ云フヤ
ウナモノヲ目常ニ拵エタモノデアリ
マスガ、併ナガラ團體ソレ自體ニ實質
的ニハ一々調査シテ見ナケレバ分リマ
セヌガ、或ハ正義デアルトカ、或ハ忠君
愛國デアルトカ、或ハ思想上ノ所謂主
義デアルトカト云フヤウナコトヲ皆言ッ
テ居リマスルガ、團體ソレ自身ガ皆一
種ノ暴力の團體デアルヤ否ヤハ、何カ
團體ノ取締デモ出來テ調査シナケレバ

容易ニ分ラナイ、茲ニ此法律ノ考ヘテ居
リマスル所ハ、其點ハ能ク分ラナイノ
デアリマスルカ、其團體ノ中ニ入ッテ居
ル人、或ハ假想スルナラバ、團體ニ入ッ
テ居ラナイ人デアリマシテ唯團體的
ノ威力ヲ惡用シマシテ——善用スル人
ハ罰スル必要ハアリマセヌ——惡用ス
ル人、其力ヲ借リテ暴行脅迫スル者ハ
特ニ處罰シタイ、斯ウ云フ趣旨カラ出
テ居ルノデアリマシテ、同盟罷業ト
カ、或ハ何カ團體其モノ、色々ノ行動
ヲ阻止スル、又團體其モノヲ取締ル、或
ハ團體員ノ行動ヲ阻止スルト云フコト
ニハ少シモ考ヘテ居ラヌノデアリマ
ス、併シナガラ偶其團體或ハ團體員
トナツテ居ル者ガ或ハ團體的ナリト稱
シテ、而シテ何カ之ニ該當スルヤウナ
惡シキ目的ニ向ツテ働ク場合ニハ、是ハ
之ニ當ルコトノ或ハ已ムヲ得ナイコト
ニナリハシナイカト思ヒマス、併シ團
體ソレ自體ノ行動ヲ彼是レ阻止シヤウ
ト云フ目的デハ毛頭ナイノデアリマ
ス、其點ダケハ御了承ヲ願ヒマス

○山根委員 大體ノ御方針ヲ了解シ
マシタガ、ソレデハ立入ッテ更ニ御尋
シタイト思ヒマスガ、同盟罷業ヲ行ッ
テ居リマス其時ニハ、公認サレテ居ル
否トニ拘ラズ、何カ勞働團體ノ名ヲ以
テ交渉ヲ爲シツ、アル、其交渉ノ進捗
中ニ於テ勿論其交渉ヲ爲ス者ハ、相當
ノ手段ニ於テ資本主ト交渉ヲ爲シツ、
アルノデアリマスガ、其間團體員ノ者

ガ此處ニ掲ゲタ罪ニ當ルヤウナコトガ
アツタ場合ニハ、ソレハ團體的背景ヲ以
テ威力ヲ示シタモノト御解釋ニナルノ
デアリマセウカ、隨テ本法ニ觸レルノ
デアリマセウカ、又斯ウ云フ資本主ト
交渉スル場合ニ於テ、團體ノ名ヲ以テ
斯ノ如キ損害ヲ與フベシト云フ要求ヲ
スルコトハナイト思フノデアリマス
ガ、其場合ニハ個人々々ノ爲シタルモ
ノト了解シナケレバナラヌノデアリマ
スガ、政府ニ於テハ斯様ナ取除キノ場
合ノ處置ニ、損害ヲ與ヘタモノヲ本法
ニ依テ處理セラル、ト云フ御考デア
ルカ、又勞働同盟罷業ノミナラズ、水平社
ノ場合ニ於テモ此事ガアルノデアリマ
ス、水平社ガ水平社ノ名ヲ以テ差別的
言動ヲ與ヘタ者ニ對シテ憤慨致シマシ
テ、或種ノ行動ニ出ル場合ガアルノデ
アリマス、之ヲ水平社ノ名ヲ以テ要求
スル場合モアリマセウガ、水平社ノ名
ヲ以テセズト雖モ、水平社ノ其交渉中
ニ於テ或水平社員ノ一人ガ、サウ云フ
コトヲ爲シタ場合ニ、矢張ソレハ水平
社ト云フモノ、背景ヲ持ツテ居ッテ、サ
ウシテ恐ラク其相手方モ水平社ト云フ
團體ノ威力ヲ感ズルカモ知レスト想像
サレ得ルノデアリマスガ、斯ウ云フ場
合ニ於テ矢張本法ヲ適用サル、積リデ
アリマスガ、水平社ノ人々ハ此法律ニ
對シテ或ハ適用サル、ノデハナイカ、
サウシテ自分等ノ是マデノ行動ニ對
シ、壓迫ヲ加ヘル考デハナイカト云フ

ヤウナ疑ヲ持ツテ居ルノデアリマス
ラ、此同盟罷工問題ト水平社ノ問題ニ
付政府ノ意見ヲ承リタイ

○立石政府委員 勞働團體ノ「スト
ライキ」ノ場合、水平社團體トデモ申シマ
スカ、ソレガ或種ノ行動ヲ爲ス場合、御
問ノ通り色々ノ場合ガアリマセウガ、水
平社ナリ或ハ勞働團體ノ一員ナリト稱
シテ、ソレヲ代表サレタヤウナ意味デ交
渉スル場合モアリマセウシ、或ハ別ニ
其様ナコトヲ言ハズニ、個人トシテ交
渉スル場合モアリマセウガ、相手方ニ
其一員デアルト云フコトヲ知ラシメナ
イデ、唯行動スル場合ニハ、此法案ニハ
觸レナイノデハナイカト思ヒマス、別
ニ威力ヲ示スノデナケレバ——前ノ場
合ニハ或ハ觸レルコトニナルカモ知レ
マセヌ、併ナガラ水平社團體ナリ、或ハ
「ストライキ」團體ナリノ者ガ「スト
ライキ」スル、或ハ水平社ノ者ガ或種ノ
行爲ヲスルニ當リマシテ、是ハ御問ノ
趣旨ハ、治安警察法ノ十七條トノ關係
ヲ御心配ニナツテノ御問カトモ思ヒマ
スガ、御承知ノ通りニ暴行脅迫ハ治安
警察法デ罰スル、刑法デモ暴行脅迫ハ
無論罰シテ居ルガ、ソレガ唯一人デ個
人トシテヤツタ場合ニハ一向差支ナ
イ、是ガ矢張多衆ノ威力ヲ示シテ、特ニ
威力ヲ以テヤル場合ニハ、ドウモ初メ
ノ趣旨ハ其者ヲ取締ル趣旨デハナイ
ノデスケレドモ、ソレダケヲ特ニ除外
スルト云フ理由ニ乏シヤウニ思ヒマ

ス、自然解釋上サウ云フコトガ起リマ
スレバ、若シ水平社ナリ勞働運動ノ際
ニ多衆ノ威力ヲ藉ツテ暴力ヲスル、脅迫
ヲスル、器物ヲ棄毀スルト云フ時ニハ、
此法條ニ依テ處分スルコトニナルト思
ヒマス

○山枳委員 只今ノ御答ニ依リマシ
テ、水平社ノ名ヲ以テシ、若クハ勞働團
體ノ名ヲ以テ交渉シ、且ツ斯ル團體行
爲ヲ爲シタル場合ニ於テノミ本法ニ於
テ罰セラレル、併シ水平社員若クハ勞
働團體員ガ行フテモ、其名ヲ以テセザル
場合ニ於テハ一個人ト解釋スベキモノ
デアルカラ、本法ニ據ラザルモノデア
ルト、斯様ニ御解釋ニ相成ツタモノト了
解シテ居ルガ、宜シウゴザイマスカ

○立石政府委員 或ハ私ノ説明ノ方法
ガ惡カッタカモ知レマセヌガ、默ツテ居
テモ、詰リ言動デ自ラ——舉動デ自ラ
其團體員タルコトヲ知ラセルヤウナ方
法ヲ以テ、而シテ其團體ノ力ヲ用キル
ト認メラル、所爲ガアレバ、是ハ無論
其適用ヲ見ルヤウニナル(此法律ニ據
ルノデスナ)ト呼フ者アリ)左様デス

○山枳委員 サウナリマスト云フト、中
中ハ面倒ナ問題ニナツテ來テ、左様ニ
認定スルト云フコトニナルト、水平社員
デアル者、又水平社ノ役員ノ名ヲ持ツテ
居ル者ハ、殆ド如何ナル場合ニ於テモ本
法ニ據ルヤウナコトニナルデヤナイカ
ト想像サレ得ルノデス、又勞働團體ニ
於テモ勞働團體ノ役員ニナツテ居ル者、

是ガ勞働團體ノ名ヲ以テ爲スコトハ斯
様ニ解釋サレル處ガアルト思フノデア
リマスカ、此點ハモウ少シ——尤モ法ノ
適用デアリマスカラ、非常ニムヅカシイ
問題デアツテ、茲ニ決定シテ置クト云フ
コトハ困難デアラウト思ヒマスガ、少
シ其點ガ理解シ難イ點ガアルト云フコ
トヲ殘シテ置キタイノデアリマス、ソ
コデ單ニ團體ノ名ヲ用キルト云フコト
ハ、同盟罷業ノ團體ノ幹部ハ或ハサウ
云フコトヲ抑壓スルヤウニ注意スルカ
モ知レナイ、水平ノ運動ニ於テモサウ
デアアル、併シ色々ノ經緯上五人ナリ七
人ガ、ナ——ニヤツケテ終ヘト云フヤウ
ナ事ニナラヌトモ限ラヌノデアリマス、
サウ云フ場合ニ於テ數名ハ多衆ノ威力
ト云フコトニナルト、文書ノ上カラ解
釋シナケレバナラヌノデアリマス、結
局一人デ行ウ場合ハ犯罪ニナラヌガ、
數人寄ツテ行ヘバ是多衆ノ威力ト云
フコトニナルト御解釋ニナルノデアリ
マセウガ、サウスルト何時デモ數人寄
テヤル或種ノ行動ハ、本法ニ據ラナケ
レバナラヌト云フコトニナツテシマヒ
ハセヌカト思ヒマス、其點ヲ伺ツテ置キ
タイ

○立石政府委員 其點ハ先程モ誰方カ
ノ質問ニ御答致シタノデアリマスガ、
此多衆——數人ト申スノハ問題デゴザ
イマシテ、多衆ト申シテモ何人以上ハ多
衆デアルト云フコトハ餘程困ル問題デ
アル、矢張其數ニ於テ相手方ガ多少壓迫

ヲ感ズルト云フ程度ニ至ラナケレバナ
ラヌト思ヒマス、斯様ナ場合ニハ是ハ
法文ノ解釋デアリマセヌケレドモ、
其目的ガ善イ方ニ向ツテ居ル時ニハ適用
スルモノデナイ、是ハ司法當局ヲ御信賴
下サツテ、ソコマデ一々檢舉スルモノデ
ハナカラウト思ヒマスカラ、其邊ハ御安
心下サツテ、此法案ヲ御認メテ願ヒタイ
ト思フノデアリマス

○山枳委員 私ハ本法ニ依テ色々ナ
「ユスリ」トカ暴力ヲ逞フスル者ヲ取締
リ而モソレガ團體ノ威力ヲ利用シ、又
ハ假裝シテ行フ行動ニ對シテ嚴罰ニ處
スルト云フコトハ、是ハ今日ノヤウニ
斯ウ云フ暴力ヲ以テ社會ヲ威嚇スル者
ガ多數ニナツタ場合ニ於テ、適當ナル立
法デアルト考ヘマスガ、唯正當ナル目
的ヲ以テ進行シツ、アル水平社運動、
此差別待遇ノ撤廢ヲ要求スル手段トシ
テ、他ニ適當ナ手段ガ講ゼラレナイ場
合ニ於テ、自ラ何等カノ方法ヲ以テ自
分ノ地位ヲ向上セシメヤウト考ヘテ居
ル時ニ、何時モ感情ノ激發カラ色々ナ
事件ガ起ルト云フヤウナ場合、或ハ同
盟罷業ノ場合ニ於テ特ニ之ヲ嚴罰ニ處
スルト云フヤウナコトハ餘程考物デア
ラウト思フノデアリマス、其點ニ於テ
先程カラ御説明アリマシタヤウニ、主
トシテ第一ノ場合ヲ目標トスルモノデ
アリマスカラ、當局ニ於テハ過チナキ
正當ナル目的ヲ以テ進ミツ、アル者ニ、
漫リニ國家ガ團體ニ威壓ヲ感ゼシムル

コトノナイヤウニ、法ノ施行上御注意
アラムコトヲ希望シテ置キマス、次ニ
第二條、第三條ニハ少シモ團體若クハ
多衆ノ威力ト云フ文字ガ書イテナイノ
デアリマスガ、然ルニ理由書ノ方ニハ總
テ團體ノ威力ニ對シテ處罰スルト云フ
問題ガ中心ニナルト書イテアリマスガ、
此問題ハ如何様ニナルノデアリマスガ、
○立石政府委員 是ハ書キ方ガ簡單過
ギテ或ハ不明瞭カモ知レマセヌガ、私
共ハ分ル積リデ居リマスガ、此第二條
ニモ「前條第一項ノ方法ニ依リ」云々
ト、ソレカラ第三條ニモ「第一條第一項
ノ方法ニ依リ」云々ト云フ、此中ニ入
レタ積リデゴザイマス、是デ……

○山枳委員 ソレデ私ハ大體方針ニ付
テハ了解シマシタカラ、細カイコトハ
——後デ氣ガ著キマシタコトガアツ
タラ又御尋ヲ致シマス、私ノ質問ハ是デ
打切りマス

○山口(政)委員 第一條ノ只今ノ御説
明デゴザイマスガ、是ハ私共兼々心配
致シテ居リマシタ點ニ觸レテ居リマス
ノデ、モウ一應單のニ御確メ致シタイト
思ヒマス、「此團體若ハ多衆」ト云フ、此
多衆ト云フ所ニハ、是ハ今山枳君ガ御
尋ニナツタヤウニ勞働組合デアルトカ、
小作者ノ團體デアルトカ、水平社ノ團
體デアルトカ、其他正當ナル目的ヲ有
スル團體ヲ除クト云フヤウナ括弧付キ
ニ實ハ伺ヒタイト思ヒマスガ、是ハ只
今政府委員ヨリノ御言葉ノ如ク、裁判

官ヲ御信賴申スヨリ外ナイノデアリマス、併ナガラ初メカラ御説明ガサウ云フ場合デモ此法ニ觸レルト云フ御説明デアルト一應御尋致シタイ、立法ノ當初ニ於テ既ニ斯ウ云フヤウナコトヲ御考慮ニナツテ居ラレルヤウニ思ヒマシマス、非常ニ此方面ノ關係者ハ脅威ヲ感ズルヤウニ思フノデアリマス、昨日本會議ニ於キマシテ、司法大臣ハ其立案ノ趣旨ニ於テハサウ云フモノハ考慮致シテ居ラヌト云フ御言葉デアリマシテ、只今ノ政府委員ノ御言葉ヨリモツト強ク其點ヲ否定シテ居ッタヤウデアリマシマス、此法ノ運用ノ上ニ於キマシテ御注意トカ、御考慮ト云フヤウナ外ニ立法ノ趣旨、精神ニ於テ、其點ヲ如何ニ立案サレタノデアアルカト云フコトヲ、モウ一應ハッキリ御伺致シテ置キタイト思ヒマス

○立石政府委員 ドウモ書キ現スノニ其點ニナリマス困リマシマス、労働團體ニ致シマシテモ、或ハ水平社ノ團體ト申シマスカ、或ハ思想團體ニ致シマシテモ、團體ソレ自體ニサウ云フ目的ヲ表示シテ居ルモノハ現時ナイヤウデゴザイマス、何レモ其團體ノ目的ソレ自體カラ見マス、或ハ別ニ無政府主義、共產主義ト云ヒマスレバ格別デアリマス、其以外ニ殺人團體トカ暴行團體ト云フモノハナイヤウデアリマス、皆調ベテ見マス其目的ハ正當ノヤウニ見エマス、又大體ニ於テ必シモ

其團體ノ目的ソレ自體ハ不正當ノモノデナカリサウデアアル、中ニハ往々惡イノモアリマス、其者ニ對シテハ注意モシ、或ハ體刑ニモ處スルト云フコトニナリマス、正當ナル目的ノ團體ヲ除クト云フコトニ致シマス、總テノ團體ガ除カレテシマフ、是ハドウモ立法上甚ダ困難ヲ感ズル、團體員ガ其團體ノ力ヲ藉リテ惡イコトヲスル、之ヲバ防グ趣旨デ出来タノデゴザイマシケレドモ、水平運動ヲ彼此レスルトカ、労働運動ヲ彼此レスルト云フ趣旨ハ毛頭ナカッタノデアリマス、此點ハ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○山口(政)委員 御説明ハ能ク分リマシタガ、成程如何ナル團體デモ皆目標トスル所ハ立派ナモノヲ掲ゲテ置キマセヌケレバ存立出来マセヌカラ、御説明ノ如クデアルト考ヘテ居リマス、併ナガラモツト突込デ御伺致シマスレバ、政府ト致シマシテハ、或ハ政府ノ御調ノ中ニハ、矢張り目標トシテハ立派ナルヲ書イテ置キマセケレドモ、政府ノ御認メニナル所ニ依テ此團體ハ惡イ團體デアアル、彼ノ團體ハ善イ團體ト云フヤウナ區別モアラウト思フ、サウシテ見マス所謂通俗ニ暴力團體ト云フモノハ此世ノ中ニ多數存在シテ居ル、ソレ等ニ對スル團體ト云フ意味デ此處ニ書キ現ハサレタノデハナイカト私ハ思フ、暴力團體ト云フ團體ガナイカラ此處ニ書ケナイノダト云フ御説明ハ、一

應ハ御尤デアリマセケレドモ、隨テ私共ハ是ハ第一條「暴力團」暴力團體第二條「暴力團體」ト云フ風ニ精神的ニ之ヲ識別致シマシテ、隨テソレ等ノ暴行、脅迫等ノ害惡ヲ除クト云フ趣旨ニ、私共ハ立法ノ精神ヲ解釋シナケレバナラナイト思ヒマス、隨ヒマシテ破壊、暴力ヲ全然目的トモ手段トモシナイヤウナ團體ガ、偶々、ノ點ニ於キマシテ暴力ヲ伴フヤウナ事ガアリマシテモ、其處罰ニ對スル方針ト致シマシテハ、此

ノ法ハ適用シナイノダト云フヤウナ御言明ヲ得テ置キマセヌケレバ、他ニ立法法律ガナイナラ別デゴザイマシマス、程度ノ高イモノナラ騷擾罪ニデモナリマス、ソレカラ暴行罪ニナリマシテモ仕方ガナイ、斯ウ云フ法律ガアルノニ特別法ヲ御作りニナルノハ、其御趣旨カラ矢張り「暴力團」「暴力團體」ト云フ風ニ御説明ヲ伺フノデナイト、ドウモ立法ノ精神ニ私共ハ非常ニ疑惑ヲ抱ク次第デアリマス

○立石政府委員 大體ノ精神ハ今ノ御尋ノ通りデゴザイマス申上ゲテ差支ナイノデハナカラウカト思ヒマスケレドモ、法文ノ解釋ト致シマシテハ、ドウモソレヲ度外シテ居ルモノデアルト云フコトニ解釋スルコトモ困難デゴザイマス、又立法ノ技術トシテモソレヲ除外スルト云フコトニシテハ、裁判所ノ取扱トシテ餘程困難ヲ感ズル、裁判所ノ取扱トシテ其團體其モノガ不法ト言

ヒマス、暴力的ト言ヒマス、サウ云フ團體デアアルカドウカト云フコトヲ認メルト云フコトハ、殆ド不可能デアアル、唯取締或ハ檢舉ノ方針ト致シマシテハ、其點ハ餘程注意ヲセンケレバナラヌ、正當ノ目的ノ團體デアルトカナイトカ、能ク取調ベテ注意ヲ致サナケレバナリマセヌケレドモ、法律ノ解釋、適用ノ問題ニナリマシテハ、其處ヲ區別シテ言ヒ現ハスコトハ餘程困難デハナイカト存ジテ居リマス

○山口(政)委員 其點ハ其程度ニ止メテ置キマシテ、參考ノ材料トシテ頂戴致シテ居リマス、此中ニアリマシカドウカ、マダハッキリ見マセヌガ、暴力行為ノ行ハレル、若クハ暴力運動ノ取締ヲスル原因ト致シマシテ、此處ニ若干アリマシマス、御面倒ナ御依頼デゴザイマセケレドモ、斯ウ云フ點ヲ御尋シテ置キタイ、最近數年間、或ハ三年デモ五年デモ宜シウゴザイマス、此中ノ暴力的犯罪デ處罰セラレマシタモノ、件數ト申シマスルカ、ソレカラ其者ノ處罰セラレタル者ノ學識ノ程度デアリマス、出來マシタナラバ專門學校以上、中學校以上ト云フヤウニ區別シテ載ケレバ尙ホ更結構デアリマシラガ、ソレ等ニ付テノ調査統計ヲ御示シ下サルコトヲ御願ヒ致シマス

○立石政府委員 只今ノ二ツノ御註文トデモ申シマセウカ、其最初ノ方、最近數年間ノ暴力的犯罪デ處罰サレタ件

數ハ分リマスガ、其等ノ學識ノ程度ト云フコトニナリマス、只今ハ調査シテ居リマセヌノデ、急ニ一週間ヤ十日出來ルカドウカ、甚ダ心許ナク思ハレマスガ、是ハ無論調査シナケレバナラヌモノデアリマスカラ、直ニ調査ニ著手シタイト思ヒマス

○山口(政)委員 只今調べテアルダケヲ戴キタイト思ヒマス、ソレカラ參考資料ノ中ニゴザイマスル暴力團ヲ徹底的ニ掃蕩スル方策トシテ、先ヅ暴力團跋扈ノ原因ヲ除クコトガ其一ツダト申シテ居リマスガ、是ハ同感デアリマス、ソレカラ彼等ヲ善導シテ正業ニ就カシムルコト、是モ同感デゴザイマス、併ナガラ前二者共中、困難ナコトデアルカラ、手取早ク此特別法ヲ制定シテ、サウシテ暴力團掃蕩ニ力ヲ盡ス、斯ウ云フコトニ伺フテ居リマス、一ツ御伺シタイノハ、此暴力行為處罰法案ヲ提案シテ、是ノミニ依テ徹底的ニ不正ノ暴行等ヲ爲ス者ヲ一掃スルト云フ政府ノ御決心ノ強サ加減ヲ伺ヒタイ、ト申シマスノハ、是ハ失禮ナ申分デアリマス、法律ハ出スケレドモ、徹底的ニ如何ナル團體ニ對シテモ行フト云フコトデゴザイマセヌト、弱キ者ノミヲ苛メルト云フ結果ニナルト思ヒマスカラ、其點ヲ伺ヒマス

○立石政府委員 此點ハ司法當局ノ直接ノ問題デハゴザイマセヌガ、元ト此法案ノ出マシタノハ自由法曹、其他各

種ノ法團、警視廳邊リモ此事ヲ非常ニ望ンデ居ツテ、私共ハ元來此法律ガナクテモ他ニモウ少シ方法ガアルモノト——是ハ内務省ヲ攻撃スルヤウニナリマスガ、實ハ私ハ考ヘテ居ッタノデアリマス、段々事情ヲ聞イテ見ルト、刑ガ輕カッタリ、報告罪デアアル爲ニ手が著カヌ、而シテ場合ニ依ルト警察犯處罰令ノ第二條ニ當リマスガ、斯様ナ罪ノアツタ時ニハ犯人其者ガ能ク法律ヲ心得テ居ル、例ハ前法相ノ鈴木喜三郎氏ノ邸ニ入ッタリ、或ハ早稻田大學總長ニ糞尿ヲ掛ケタトカ、根津邸ニ亂入シタトカ云フ如キ、殊ニ早稻田ノ高田總長ニ暴行ヲシタ如キハ、犯人ガ能ク法律ヲ心得テ居テ、自ラ警視廳ニ飛込ンデ、斯ウ云フコトヲヤツテ來タガ、ドウシテ處罰スルカト言ツテ威張ツテ來タ、報告罪デアアルカト告訴セヌト處罰スルコトガ出來ヌガ、アノヤウナ地位ノアル人ニナルト中、告訴シナイカラ、處罰ガ出來ヌノデ困ル、ソレデ最初ハ警察犯處罰令デ拘留ヲシテ、次ニ科料ニ處スルト云フヤウナコトデ、餘リ刑ガ輕イモノダカラ、犯人ハ却テ喜ンデ居ルト云フ如キ狀態デアルニ反シテ、最初ニ檢舉シタ警察官ハガツカリシテシマフト云フヤウナコトデ、ドウモ警察官ガ十分ニ動カヌノデアリマスガ、今度此様ナ法律ガ出來マスレバ、此事ニ付テハ警察方面デモ熱望シテ居ルコトデアルカラ、十分ニ努力ヲ

シテ貰フコトガ出來、司法當局カラモ檢事ヲ督勵シテ十分ニ注意スル積リデゴザイマス

○山口(政)委員 是モ御依頼デゴザイマス、此犯罪ノ中デ、生活問題ニ困ツテ犯罪ヲ爲シタト裁判官ガ御認定ニナルヤウナ者ノ統計ガ、現ニアリマシタナラバ載キタイト思ヒマス

○立石政府委員 後ニ差上グルコトニ致シタイト思ヒマス

○山口(政)委員 文部省ノ政府委員ガ居ラレマセヌノデ、ドウカト思ヒマスガ、此參考資料ノ中ニハゴザイマセヌケレドモ、所謂暴力行為ヲ振ヒマスル爲ニ、處罰セラレル犯人ノ多數ハ、總テ相當ノ教育ガアルモノト考ヘテ居リマス、或ハ專門學校位ヲ出タモノガ多イノデハナイカト想像サレマスガ、此種ノ犯罪ト、今日ノ教育方針ト申シマスルカ、其制度トノ關係ガ餘程アルヤウニ思ヒマス、先程ノヤウナ統計ノ御示シヲ求メタノデアリマスガ、統計ニ依ラヌト明確ニハ申セマセヌケレドモ、此點ニ付テモ十分御考慮ヲ願ヒマシテ、此法案ト併セテサウ云フ方面ニモ御努力ヲ願ヒタイト考ヘテ居リマス、先程御依頼シマシタ統計ハ急ニハ出來ヌト考ヘマス、只今ノ生活ノ困難ニ依ル犯罪ノ件數ノ調査モ御作リ下サルコトヲ願ヒマス

○立石政府委員 只今ノ御註文ハ、私共モ十分努力シマシテ、今現ニ少シ話

ハ外レマスケレドモ、犯罪ノ方面カラ見マシテモ、思想上ノ事、又教育上ノ事ハ餘程重大ナル關係ガアラウト思フノデ、今司法省內ニ特別ノ一ノ係リヲ設ケマシテ、著々其方面ニ付テ調ヲ進メルコトニナツテ居リマス、唯何分人手モ足ラズ、材料モ不足シテ居ツテ、思フヤウニハ行キマセヌガ、今仰セニナリマシタヤウナ點ニ付テハ、十分努力シヤウト思ツテ居リマス、尙ホ不良少年ナドノ取締ニ付テハ、矯正院ナドノ設ケモアツテ著々ヤツテ居リマスガ、是モ何分經費ガ少イ爲ニ全國的ニ行ケナイヤウニ思ヒマス、是等ノコトニ付テモ人手ヲ増シ、經費ヲ増シテドウカシテ貰ヒタイト考ヘテ居リマス

○森田委員長 一寸此席カラ御尋致シマスガ、此暴力團體ヲ組織シタ者ヲ處罰スル取締法ハナイノデスカ

○立石政府委員 組織シタ團體其物モ、若シソレガ暴力ヲ目的トスル、暴力犯罪ト言ヒマセウカ、サウ云フモノニ付テ、團體其物ノ處罰規定ヲ設ケタイト云フ希望モアツタノデゴザイマスガ、其立方ガ餘程困難デゴザイマス、ト、矢張刑法改正ノ時ニ考慮シテモ晩クハナカラウカト云フコトデ、ソレハ省略致シマシタ、將來ハ左様ナモノモ取締ル時機ガ到來スルコト、思ヒマス

○森田委員長 私ノ考ヘル所デハ博徒トカ云フ者ガ常ニ團體ヲ結ンデ、所謂繩張內ニ於テハ正當ノ行為ヲスルニ付

ハ外レマスケレドモ、犯罪ノ方面カラ見マシテモ、思想上ノ事、又教育上ノ事ハ餘程重大ナル關係ガアラウト思フノデ、今司法省內ニ特別ノ一ノ係リヲ設ケマシテ、著々其方面ニ付テ調ヲ進メルコトニナツテ居リマス、唯何分人手モ足ラズ、材料モ不足シテ居ツテ、思フヤウニハ行キマセヌガ、今仰セニナリマシタヤウナ點ニ付テハ、十分努力シヤウト思ツテ居リマス、尙ホ不良少年ナドノ取締ニ付テハ、矯正院ナドノ設ケモアツテ著々ヤツテ居リマスガ、是モ何分經費ガ少イ爲ニ全國的ニ行ケナイヤウニ思ヒマス、是等ノコトニ付テモ人手ヲ増シ、經費ヲ増シテドウカシテ貰ヒタイト考ヘテ居リマス

○森田委員長 一寸此席カラ御尋致シマスガ、此暴力團體ヲ組織シタ者ヲ處罰スル取締法ハナイノデスカ

○立石政府委員 組織シタ團體其物モ、若シソレガ暴力ヲ目的トスル、暴力犯罪ト言ヒマセウカ、サウ云フモノニ付テ、團體其物ノ處罰規定ヲ設ケタイト云フ希望モアツタノデゴザイマスガ、其立方ガ餘程困難デゴザイマス、ト、矢張刑法改正ノ時ニ考慮シテモ晩クハナカラウカト云フコトデ、ソレハ省略致シマシタ、將來ハ左様ナモノモ取締ル時機ガ到來スルコト、思ヒマス

○森田委員長 私ノ考ヘル所デハ博徒トカ云フ者ガ常ニ團體ヲ結ンデ、所謂繩張內ニ於テハ正當ノ行為ヲスルニ付

テモ、其許可ヲ受ケナケレバナラヌヤ
ウナコトガアル、ソレニ對シテ此法ヲ
適用スルコトハ可ナリ困難ガアラウト
思ヒマスガ、サウ云フ者トカ、政治「ゴ
ロ」、札付ノ者、博徒ト云フヤウナ者ニ
對スル取締モ必要ト思ヒマスガ、只今
ノ御意見ヲ承リマシタカラ此程度ニ致
シテ置キマス、ソレカラ本日ハモウ御
質問モナイヤウデゴザイマスガ、各政黨
ノ方モマダ代議士會ヲ開カナケレバナ
ラヌト云フ御意見モゴザイマスノデ：

○原(夫)委員 第一條ノ法文ハ隨分御
苦心ニナツタモノト思ハレマスガ「團體
若ハ多衆ノ威力ヲ示シ、團體若ハ多衆
ヲ假裝シテ威力ヲ示シ、兇器ヲ示シ又
ハ數人共同シテ」是レノ罪ヲ犯シ
タル者ハ云々ト云フコトニナツテ居
リマスガ、此兇器ヲ示スト云フコトハ、
團體若クハ多衆ノ威力ヲ示ス、又ハ團
體若クハ多衆ヲ假裝スルト云フ背景
ノ下ニ兇器ヲ示スト云フコトデアル
ト解スルノデアリマスガ、サウスルト
兇器ヲ示スト云フコトハ要ラヌデヤ
ナイカト思ヒマス、矢張威力ヲ示スコ
トガ主デスカラ、威力ヲ示スト云フコ
トノ中ニハ兇器ヲ示サウガ、握リ拳ヲ
出サウガ、一寸モ差異ガナイヤウニ思
フ、其點ハ如何カト云フコト、モウ一
ツハ「又ハ數人共同シテ」ト云フコトガ
アリマスガ、其「又ハ數人共同」ノ場合
ハ、一番上ノ團體的威力ヲ示スト云フ
コトモ之ニ掛ルノデスカ、ドウデスカ

兇器ヲ示シ又ハ數人共同シテ刑法第何
條々々、斯ウ云フヤウニ讀ンデ戴キタ
イ、皆一ツノ切レルノデス、其積リ
デ此間ニ一々句點ヲ置イタノデス
○原(夫)委員 サウスルト兇器ヲ示ス
ト云フ場合ハ、背景ハナクテモ宜シイ、
數人共同ノ場合ニ於テモ背景ハナクテ
モ宜シイト云フコトニナルト、兇器ヲ
示シタ場合ニハ一人デモ差支ナイ、ソ
レカラ共同シテ是等ノ犯罪ヲスル場合
ニ於テハ二人デアツテモ構ハナイ、斯ウ
云フコトニナルト、團體的威力ト云フ
コトハ別ニナルノデスカ、ソレデア
ルナラ此條ヲ別々ニシテハ、ドウデセ
ウ、是デ其意味ガ分リマスカ

ヲ以テ金品其他財産上ノ利益トカ職務
トカ云フモノヲ供與スルトカ、申込又
ハ約束シタ者トカ、或ハ又情ヲ知ツテ供
與ヲ受ケ、又ハ其要求若クハ約束シタ
者ト云フヤウナモノハ、時ニ依テ教唆
罪ニナツテ、正犯ト同一ニ罰セラルベキ
モノニナルシ、或ハ共同正犯ニモナル
シ、或ハ從犯ト云フヤウナモノニモナル
ヤウナ規定ニ茲ニナツテ居ルノデスカ、
蓋シ茲ニ規定シテアルモノハ、刑法上
教唆罪ニナルベキモノハ刑法ニ依テ處
罰シナケレバナラヌト云フ意味ニナル
ガラウト思フノデス、ソレ等ノモノヲ
取除ケタ場合ノ斯ウ云フ犯罪ト云フモ
ノハ、ドウ云フモノガ取除ノ場合ニアル
ノデアリマセウカ、尙又斯ウ云フ重大ナ
ル犯罪ニ對シテ六ヶ月以下ノ懲役又ハ
五十圓以下ノ罰金ニ處スルト云フコト
デハ、前ノ方ノ條文ト比較シテ刑罰ガ
非常ニ輕イヤウニ思ハレル、其二點ヲ
伺ツテ置キマス

○立石政府委員 刑法改正ノ方ハ何レ
此議會デモ濟ミマシタナラバ、委員會
デモ組織シテ其取調ニ著手シタイト
思ツテ居リマス、是ハ中ニ問題モ澤山
アリマスシ、議論モ多カラウト思ヒマ
スノデ、之ニ手ヲ著ケマシテモ一年ヤ
二年デハ出來マイト思ヒマス、而シテ
是ハ成ベク早くシタイト思ヒマスノ
ト、今茲ニ拵ヘマシタ僅カ三箇條デ出
來マスシ、又是ハ極メテ緊要ノコトデ
ゴザイマスカラ、差當リ特別法ニシテ
置イタ方ガ宜イト云フコトノ意味カラ
デアリマス

○立石政府委員 其考モアツタノデゴ
ザイマスガ、刑法ノ中ニ之ヲ入レマス
ノハ、其入レ方ガムヅカシイ、彼方此方
ニ關係ガ出來マシテ、是ガ爲ニ方々ヘ
手ヲ著ケナケレバナラヌト考ヘマシタ
ノデ、之ヲ單行法トシタノデアリマス

○立石政府委員 是ハ皆別ニナル考デ
書イタノデアリマス、詰リ團體若ハ多
衆ノ威力ヲ示シ刑法第何條々々、團體
若ハ多衆ヲ假裝シテ刑法第何條々々、

○立石政府委員 百九十九條ノ殺人ノ
關係ニ付テハ御疑ノ起ルノハ御尤ナ事
ト存ジマス、併シ矢張御尋ノ中ニ御述
カ、從犯トカ云フコトニナリマスルナ
ラバ、是ハ刑法ノ方デ處罰致シマスノ
デ、ソレニナラヌ場合、例ヘバ單ニ煽動
シタニ過ギナイ、而シテ金品ヲ供與シタ、
是ハ教唆罪デモ從犯デモナク、一種ノ
金品供與罪、或ハ利益供與罪ト云ヒマ
セウカ、犯罪ヲ爲サシムル爲ニ其極ク

テモ、其許可ヲ受ケナケレバナラヌヤ
ウナコトガアル、ソレニ對シテ此法ヲ
適用スルコトハ可ナリ困難ガアラウト
思ヒマスガ、サウ云フ者トカ、政治「ゴ
ロ」、札付ノ者、博徒ト云フヤウナ者ニ
對スル取締モ必要ト思ヒマスガ、只今
ノ御意見ヲ承リマシタカラ此程度ニ致
シテ置キマス、ソレカラ本日ハモウ御
質問モナイヤウデゴザイマスガ、各政黨
ノ方モマダ代議士會ヲ開カナケレバナ
ラヌト云フ御意見モゴザイマスノデ：

○原(夫)委員 第一條ノ法文ハ隨分御
苦心ニナツタモノト思ハレマスガ「團體
若ハ多衆ノ威力ヲ示シ、團體若ハ多衆
ヲ假裝シテ威力ヲ示シ、兇器ヲ示シ又
ハ數人共同シテ」是レノ罪ヲ犯シ
タル者ハ云々ト云フコトニナツテ居
リマスガ、此兇器ヲ示スト云フコトハ、
團體若クハ多衆ノ威力ヲ示ス、又ハ團
體若クハ多衆ヲ假裝スルト云フ背景
ノ下ニ兇器ヲ示スト云フコトデアル
ト解スルノデアリマスガ、サウスルト
兇器ヲ示スト云フコトハ要ラヌデヤ
ナイカト思ヒマス、矢張威力ヲ示スコ
トガ主デスカラ、威力ヲ示スト云フコ
トノ中ニハ兇器ヲ示サウガ、握リ拳ヲ
出サウガ、一寸モ差異ガナイヤウニ思
フ、其點ハ如何カト云フコト、モウ一
ツハ「又ハ數人共同シテ」ト云フコトガ
アリマスガ、其「又ハ數人共同」ノ場合
ハ、一番上ノ團體的威力ヲ示スト云フ
コトモ之ニ掛ルノデスカ、ドウデスカ

○原(夫)委員 是ハ皆別ニナル考デ
書イタノデアリマス、詰リ團體若ハ多
衆ノ威力ヲ示シ刑法第何條々々、團體
若ハ多衆ヲ假裝シテ刑法第何條々々、

○立石政府委員 百九十九條ノ殺人ノ
關係ニ付テハ御疑ノ起ルノハ御尤ナ事
ト存ジマス、併シ矢張御尋ノ中ニ御述
カ、從犯トカ云フコトニナリマスルナ
ラバ、是ハ刑法ノ方デ處罰致シマスノ
デ、ソレニナラヌ場合、例ヘバ單ニ煽動
シタニ過ギナイ、而シテ金品ヲ供與シタ、
是ハ教唆罪デモ從犯デモナク、一種ノ
金品供與罪、或ハ利益供與罪ト云ヒマ
セウカ、犯罪ヲ爲サシムル爲ニ其極ク

輕イ程度ノ場合ニ初メテ第三條ニ該當スルコトニナルヤウニ思ハレマス、ソレデアリマスカラ、刑ノ權衡ガ敢テ不當デハナカラウカト考ヘテ居ルノデアリマス

○原(夫)委員 ドウモ是ハ刑法ト直接非常ニ錯綜スルヤウナ規定デスガ、其刑法ノ處罰以外ノ今立石君ノ云ハレタヤウナ、極ク輕イ犯罪デアルト云フコトノ何カハツキリシタ規定ノ仕方ハ別ニナイモノデセウカ

○立石政府委員 御答致シマス、是ハ隨分苦心ノ結果產出シタ規定デゴザイマシテ、幸ニ選舉法ニモアルシ、ソレヲ真似タノデアリマスガ、中ニ面倒デアリマス、一條モサウデス、三條バカリデハナイ、一條モ、二條モ、三條モサウデス、殊ニ三條ニ至リマシテハ去年ノ十月ノ末頃力中頃力、何遍案ヲ立直シタカ分ラヌ、漸ク斯ンナモノガ出來タノデス、法制局ニモ大分直シテ貰ッタト云フ譯デ、此拵ヘ方ニ付テハ、彼方打突カリ此方ヘ打突カリシテ面倒デアリマシテ、漸ク是ダケニシタ位デ、努力苦心ノ結果デアリマス

○原(夫)委員 サウスルト此中ニハ本法ガ考ヘタ暴力行爲、所謂暴力團制御ノ部分ダケデハナイ、非常ニ廣イ範圍ノモノガ茲ニ是ダケ出來ルノデアリマスカ、暴力ダケニ之ヲ制限シテ、其他ノ刑法中ノ犯罪ニ對シテモ、金品其他ノ財産上ノ利益、或ハ職務ヲ供與シテ約束

ヲシテ犯罪ヲ爲サシムル、斯ウ云フヤウナモノハ總テ此新ナル立法ト同様ニ罰スル規定ガ必要デアルト思フノデスガ、茲ニ暴力ダケニ付テサウ云フ事ヲ規定スルト、例ヘバ此議會デ問題ニナッタ江木司法大臣ノ問題ノ如キ、金ヲヤツテ運動シタト云フヤウナ、ア、云フ輕イモノガ此條文ノ暴力デアルトスルナラバ這入ル、色ミナ場合ガ起ル譯ダト思フノデスガ、唯是ダケヲ茲ニ——刑法百九十九條、二百四條、二百八條ノ暴行罪、二百二十二條ノ脅迫罪、業務妨害

トカ、是ダケニ限ツタ理由ヲ承リタイ
○立石政府委員 御答致シマス、其點モ十分ニ考慮致シタノデアリマスガ、茲ニ列ベテデアリマスル各種ノ犯罪ハ何レモ——殺人モ、暴行ハ無論ノ話、脅迫モ、又器物毀棄モ、業務妨害モ、總テ暴力ガ内容ニナツテ居ル犯罪デアリマシテ、而シテ「第一條第一項ノ方法ニ依リ」ト云フ所ニ餘程意味ガアル積リデアリマシテ、第一條第一項ノ方法、即チ團體的背景トカ、兇器ヲ持ツテトカ云フヤウナコト、之ヲ利用シテ此方法ニ依テ或種ノ犯罪ヲ爲サシムルコトヲ援助スルトカ、利用スルトカ、金品ヲ供與スルトカ云フヤウナコトヲスル場合ハ、個々ノ犯罪デハ極メテ稀デアリマス、殆ド無イト云ツテモ宜イヤウニ考ヘラレマシタカラ、抽象的ニ考ヘレバ總テニ付テ之ト同ジヤウナ事柄ノ必要ガ起ルト云フコトガアリマセウケレドモ、實際

ノ上カラ云ヒマス、當面ノ急トシテハ其必要ガ無カリサウニ思ハレタノデ是ダケニ限定致シマシタ
○原(夫)委員 サウスルト吾ガ暴力團ニ必要デアルト思ハレル此引用ニナツテ居ル條文以外ニ於テ、例ヘバ刑法ノ騷擾罪ノ如キモ、騷擾ノ結果人ヲ殺ストカ、傷害トカ、暴行トカ云フモノハ無論アルニ相違ナイガ、騷擾ヲ起サス爲金品其他財産上ノ利益ヲ供與スルト云フ約束スルトカ云フヤウナ者ニ對シテ、之ト似寄ツタ處罰規定ヲ設ケナケレバナラヌヤウニ思ハレルノデスガ、ソレハドウ云フ譯デ除外サレタノデスカ

○立石政府委員 或ハ其必要ガ生ズルカモ知レマセヌガ、其様ナ事例ハ至ツテ少イヤウニ思ヒマス、ソレカラ騷擾ノ方ハ御承知ノ通り色々ノ各種ノ團體員ト云ヒマス、騷擾ノ多衆——多衆ノ犯罪ノ色々ノ内容ガ決メテアリマスノデ、之ヲ一概ニ持ツテ來ルト云フコトハ困難デアリマス、其方ニ附和隨行者トカ云フモノハ規定シテアル、刑法ノ方ニ當ルナラバ刑法ノ方デ行ケルト云フ考カラ斯ウ致シタノデアリマス

○原(夫)委員 其事例ガ少イト云フノハ、事例ガアルト云フ意味デスカラ、多クナイト云フダケデ……
○立石政府委員 殆ド無イヤウデス
○原(夫)委員 無イノデスカ、少クトモ此條文ニ持ツテ來ルニハ、刑法ノ騷擾

罪ノ規定ヲソツクリ此處ニ持ツテ來タラ何モ大シタ面倒ナコトハナイヤウニ思ハレルノデスガ、若シサウ云フヤウナモノガ一番政治期節ナゾニ最モ必要ノヤウニ思ハレルノデスガ、是マデサウ云フ法律ガナカッタカラ其事例モナイ管デアリマスケレドモ、是マデ澤山アツタニ相違ナイト思フ、是ハマア意見ノ相違デスケレドモ、政府委員立石君ノ御説明ニ依ルト、サウ云フ條文ヲ加ヘテモ別ニ御異議ハナイ譯デスナ

○立石政府委員 加ヘルコトガ出來レバ敢テ異議ハアリマセヌガ、ドウ加ヘマスカ……
○内ヶ崎委員 私ノ質問ハ茲ニ配ッテ戴イタ參考資料ノ「暴力團取締ニ關スル一班」ト云フ之ニ關シテノ問題デスガ、質問ニナルノデアリマス、或ハ司法當局ヨリ政府ニ對スル希望ニナルノデアリマス、能ク分ラナイノデアリマスガ、一寸申上ゲテ見タイト思フノデアリマス、此暴力團取締ニ關スル一班ト云フ書類ヲ見マスルト、暴力團ハ之ヲ大別スルト壯士ト稱スル政治ゴロ、左傾若クハ右傾的思想臭味ヲ有スル不良者ノ集團、三百及其配下ニ屬スル者、博徒及俠客、ト斯ウアリマス、ソレカラ暴力ノ發生ノ原因ニ付テ現行法令ノ缺陷、政治上、社會上、思想上ノ原因、ソレカラ暴力團ノ種類及跋扈ノ狀況ト云フコトニナツテ居ル、ソレカラ最後ニ暴力團取締ノ狀況、大分御調ベニ

後ニ暴力團取締ノ狀況、大分御調ベニ

ナツタ材料デアリマシテ、無論吾々ハ之ニ異存ハナイノデアリマスケレドモ、此暴力團ト云フヤウナモノガ多數存在シテ、暴力行為ヲ行フテ居ルト云フコトニ付テハ、吾々ハ個人トシテモ、或ハ民族トシテモ、大分困ッテ居ル問題デアリマスカラシテ、司法當局ガ此様な法律案ヲ御作リニナツタコトニ對シテハ、理解モアレバ同情モアルノデアリマス、然ルニ此暴力行為ガ最近非常ニ多クナツテ居リマスケレドモ、此背景或ハ原因ハ大分遠クテ大キイモノデハナイカト思フノデアリマス、第一是ハ日本國民性ニモ關係ガアルダラウト思フ、日本ハ古來尙武ノ國デアリマシテ、何方カト云ヘバ武張ッタ國デアリマス、東洋諸民族ノ中デ島國ノ關係カドウ云フ關係デスカ、武ヲ以テ立ッテ居ッタノデアリマシテ、殊ニ鎌倉時代ニ於ケル武士道ノ勃興以來、日本人ノ性質ハ餘程尙武ノ氣風ガ盛ニナツテ、南北朝以後ハ御承知ノ通り和寇ト云フモノガアツテ、朝鮮沿岸ヨリ山東省或ハ關東州方面或ハ楊子江沿岸迄モ日本人ガ海賊團ヲ作ッテ荒シ廻ッタト云フコトデアリマシテ、サウ云フヤウナ國民性ガ今尙ホ幾ラカ日本人ノ間ニハ殘ッテ居ルノデハナイカ、是ガ最近ニナツテ或ハ社會上、政治上、經濟上ノ關係ニ依テ暴力團トナツテ現ハレテ居ルノデハナイカト思フ、シテ見レバ日本ノ國民性ニハサウ云フ長所モアルカモ知レナイガ、其長所ガ

濫用サレルト云フト一方ニ於テハ此様な暴力行為ヲ爲ス所ノ團體ヲ産ムヤウニナツテ來ルノデアルカラ、ソレニ對シテ國家ハ教化上ノ責任ヲ盡シテ居ルカト云フト、國家ハ十分ニ其責任ヲ盡シテ居ラナイヤウニモ思フノデアアル、第一學校ノ教育ヲ見レバ、軍事教育デアルトカ、或ハ武道ノ教育ト云フヤウナコトハ大分熱心ニヤツテ居ルケレドモ、學生ノ訓練上ニ於テ社交的訓練ヲ與ヘルト云フヤウナコトハ、頗ル閑却サレテ居ルヤウニ思フノデアリマス、一般ノ行儀作法スラモ學校デハ餘リ教ヘナイト云フヤウナ傾ガアリマスケレドモ、殊ニ學校ノ寄宿舎ノ生徒ノ如キハ極テ難駁ナモノデアアル、又今日東京市内及大都會ニアル所ノ下宿屋生活ノ如キハ難然タルモノデアツテ、只今ノヤウナ生活ヲシテ居ッテ立派ナ人ニナルト云フコトハ頗ル困難デアアル、是ガ矢張暴力團ナドノ現ハレテ來ル所ノ原因デアアル、難駁ナル寄宿舎生活、或ハ大都會ノ實ニ墮落シタル所ノ下宿屋ノ生活ナドモ原因ニナツテ居ルノデハナイカト思フノデアリマス、而シテ日本ノ教育ニ於テハ教育ト宗教ヲ離シテシマヒマシテ、宗教ト云フモノヲ成タケ學校カラ追拂フト云フヤウナ態度ヲ執ッテ居ル、所謂精神教育ト云フモノハ極メテ薄イ、極テ偏重ナル國家思想ニ因ハレテ居ル、人ヲ人トシテ取扱ハナイノミナラズ、自ラ反省スル、或ハ人ノ罪ヲ許シ

テヤルト云フヤウナ、寛容ノ美德ヲ養フト云フヤウナ方面ニ於テハ、教育ノ手段方法ニ極メテ缺陷ガ多イダラウト思フノデアリマス、又社會教化ノ方カラ云ヒマシテモ、出獄人保護ノ事業モ餘リ振ハナイ、又ハ職業紹介所ノ如キモ一般ノ勞働階級ニ對シテハ多少ノ役ニ立ッテ居リマスケレドモ、知識階級ニ對スル所ノ職業紹介所ノ如キハ、十分徹底的ニ行ハレテ居ラナイ憾ミモアルヤウデアリマス、ソレカラ一般國家ノ設備ト致シマシテハ、餘リニ大都會中心ノ設備ヲ致シテ居リマシテ、地方農村或ハ地方ノ小都市、或ハ町村ノ文化的設備ヲ省ミナイト云フヤウナ缺點ガアリマシテ、大都會ニハ公園或ハ色々ノ娛樂機關、或ハ停車場ノ如キ、或ハ電車ノ設備ノ如キモ、大都會ハ多クノ便利ヲ得テ居リマスガ、農村ノ方ニ於テハ其恩惠ニ浴スルコトハ少ナイト云フヤウナ譯デアリマス、經濟上農業ヲヤツテハ生活ガ難カシイト云フヤウナ譯デ、離村問題ナルモノガ起ッテ居リマシテ、矢張青年男女ガ都會ニ集中スルト云フヤウナサウ云フ傾向ガアリマス、サウスルト單ニ法律ヲ以テ暴力團ヲ防止シヤウト致シマシテモ、次カラ次ヘサウ云フ卵ガアルノデアリマスカラ、幾ラデモ暴力團ガ發生スルダラウト思フノデアリマス、私ハ此法律ヲ定メルト云フコトニ對シテハ異論ハ無いノデアリマスケレドモ、一方ニ於テ之ニ

對スル處罰規程ヲ定メルト云フコトハ必要デアアル、仍テ一方ニハ將來暴力團體ノヤウナモノガ容易ニ現レ惡クナルヤウナ社會施設、若クハ教育機關ノ設備、或ハ教化上ノ手段方法ヲ考究シ、且ツ之ヲ實現スルト云フコトガ必要デハナイカト思フノデアリマス、此事ハ大問題デアアル、單ニ是ハ司法當局ノ問題デハナイノデアリマシテ、司法省、內務省、文部省或ハ農林省等ガ協力シテ御ヤリニナラナケレバナラヌコトデアアルシ、又一方ニ於テハ今日ノ學校卒業生ガ非常ニ多クナツテ、就職難ニ苦ンデ居ル場合デアリマスカラ、仕事ガ無いカラ暴力團ニ誘ハレルト其中ニ入ルト云フコトニナル、例ヘバ學校ヲ卒業シテブラ／＼シテ居ル、仕方ガナイカラ十人カ十五人位ノ者ガ一軒ノ家ヲ借りテ、何ニ團トカ何ニ會トカ云フモノヲ造ッテ、サウシテ總選舉ガアルト政黨ノ首領ナドヘ行ッテ金ヲ貰ッテ來テ、サウシテ自動車ニデモ乗ッテ、旗デモ立テ、「ビラ」デモ撒イテ歩クト云フヤウナ者モアリマスガ、或ハ會社ノ總會ナドニ備ハレテ行ッテ會社ヘ行ッテ見ルト、友達ガ反對黨カラ備ハレテ來テ居ルノデ、君等モ來テ居ルノカ、ヤア、マア、ト云フヤウナコトヲ言ッテ歸ッテ來ルヤウナ例モ少クナイヤウデアリマスカラ、是ハ一方ニ於テ政府ト致シマシテハ大問題デアリマスカラシテ、能ク御考ヲ願ヒタイト思フ、ソレカラ此人口過剰デアルカラ植民政策ヲ立

テ、サウ云フ過剰ノ人口ヲ海外ニ吐出スト云フコトモ御考ニナル必要ガアルヤウニ思フノデアリマスカラシテ、ドウモ此「暴力團取締ニ關スル一班」ト云フ材料ハ稍其皮相ノ——皮相ト申上ゲテハ甚ダ失禮デアリマスガ、モウ少シ奥マツタ所ニ遠イ——大キナ原因ガアルヤウニ思フノデアリマスカラシテ、是ハ何モ司法省ニ對シテノ質問ト云フヨリハ、寧ろ是ハ總理大臣ニデモ豫算總會アタリデ質問シナケレバナラヌ問題ト思ヒマスガ、今出テ來タ案デアリマスカラ、是ニ質問デアルカ、或ハ私ノ意見デアリマスガ、甚ダ曖昧デアリマスガ、一寸申上ゲテ當局ノ御意見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス

○本田政府委員 内ヶ崎君ノ御意見ハ、吾々ノ常ニ考ヘテ居ルモノト符節ヲ合シタヤウナ御意見デアッタコトヲ喜ビマス、唯議場ニ於テハ犯罪ニ關スル國法ノ觀念ヲ申サナケレバナラヌガ、單ニ此暴力團問題ニ限リマセヌ、一切ノ犯罪ヲ法律ヲ以テ絶滅セシムルト云フコトハ到底不可能ナコトデ、内ヶ崎君ノ言ハル、如ク、或ハ教育方面ヨリ、或ハ社會ノ改良ヨリ、或ハ人口ノ問題ノ解決ヨリ、種々ナル社會經濟上ノ狀態、社會一般ノ狀態ヲ改良ノ結果ヲ綜合シテ、此世ノ中ニ犯罪者ヲ減少スル效果ヲ現スト云フコトハ、吾々ノ考ヘテ居ル所デアリマス、併ナガラソレハ非常ニ大キナ問題デアリマス、而シテ長イ年月

ヲ要シナケレバ效果ヲ現スコトノ出來ナイ問題デアル、今度司法當局ガ計畫致シマシタノハ、現在ノ時弊ヲ取敢ヘズ救フ、刑法ヲ改正スレバ斯ノ如キ取締法ト云フモノハ無論其中ニ入ルベキモノデアリマスガ、其刑法ノ改正サルルマデ待タレナイ、目ノ前ニ差迫ッテ世ノ中ニ現レテ居リマスル所ノ惡氣流、或ハ惡習慣ト申シマスガ、惡思想ト申シマスガ、社會ニ跋扈シテ居ル暴力行為ヲ常ニ用ヒテ居ルモノヲ取締ルト云フコトハ——社會ノ公安ヲ害シ、個人ノ利益ヲ侵害スルト云フ現在ノ狀態、之ヲ取締リタイト云フノガ此法案ノ大體ノ目的デ、斯ウ云フ法律ガ出來タラ、是ガ爲ニ此暴力ニ關スルヤウナ事柄ハ社會カラ絶滅スルモノデアルト云フコトヲ期スルコトハ、是ハ不可能デアリマス、仰セノ如ク我が國民性ノ發揚モ善イ意味ニ於テノ發揚デアレバ何等取締ル必要ハナイ、尙武ノ國民性モ斯ウ云フ惡イ狀態ニ用ヒラル、ト云フコトデアレバ、斯ウ云フ應急ノ法律ヲ作ッテ出來ルダケ社會ノ公安、個人ノ利益ヲ保護スルト云フ目的デアリマス、仰セニナル通り各方面ノ改良ヲシナケレバナラヌト云フコトハ勿論デアリマス、ソレハ所謂諸君ノ如キ政治家ガ是等ノ改良ニ努力セラル、ニアラズンバ、到底此目的ヲ達スルコトハ出來マセヌ、御趣意ニ對シマシテハ吾々ニ於テモ一點違フ所ナク、常ニサウ云フ所ニ努力シ

タイト考ヘマスガ、併ナガラ内ヶ崎君ノ言ハル、通りニ、ソレハ各方面ヲ受持ッテ居リマスル者ノ力ガ綜合シテサウ云フコトガ出來ルノデアリマスカラ、吾々司法當局ト雖モ決シテ法律萬能主義デ居ルモノデナイト云フコトヲ此際申上ゲテ置キマス

○立石政府委員 只今ノ内ヶ崎氏ノ御所見ハ一々御尤デアリマス、決シテ異存ハナイト思ヒマス、只今本田政務次官カラ述ベラレタ通りデ、將來益其點ニ付テハ御希望ニ副フヤウニ努力スルト云フコトヲ明言シテ憚リマセヌ、併ナガラ之ニ就テハ多少ノ施設モ要リマス、又或ハ豫算ノ必要ヲ生ズルコト固ヨリデアラウト思ヒマスガ、其節ニハ然ルベク御盡力ヲ願ヒマス

○安藤委員 私ハ簡單ニ質問致シマスガ、私モ今内ヶ崎君ノヤウナ意見ヲ持ッテ居ルノデアリマス、唯此暴力行為ヲ處罰スルト云フヤウナ法ノミ拵エマシテモ、根本的ニ何等カ途ヲ講ジナケレバ、結局後カラ後カラ出テ來テ、此法律デモ足りナクテ、又更ニ抑壓的ノモノヲ拵エナケレバナラヌト云フ風ニ、次カラ次ニヤッテ行カナケレバナラヌト云フコトニナルダラウト思フ、ソレデ先ヅ第一ニ伺ヒタイノハ、年々何等カ抑壓的ノ取締ニ屬スルヤウナ法律ガ出來テ行ク傾向ニナッテ居リマス、此暴力行為處罰モ即チソレデアリマスガ、暴力行為ヲ取締ルト云フコトハ已ムヲ得ナ

イコトデアリマセウガ、例ヘバ現在勞働組合法ヲ御提案ニナッテ居ル、而モ爭議調停法ダケハ委員會ヲ通過シテ、本會議ニ近ク掛ル、肝腎ノ組合法ハ質問ハ終了シテ居ルノニ未ダ委員會ヲ通過セシメントモセズニ居ル、是ハ何時通過スルノカ、貴族院マデ行ッテ通過ガ出來ナイノカ、會期切迫ノ今日甚ダ危シデ居ル、而シテ又一面ニ暴力行為ト云フモノヲ出シテ來テ、質問モ今日ダケデオシマイニシテ、ドン——ヤッテシマッテ、之ヲ早ク渡スト云フコトニシマスルト、詰リ國民ノ權利伸張ノ方ハ何ダカ愚圖ミシテ居ッテ、抑壓ノ方ノミヲ急イデヤルト云フヤウナ傾ニナッテ居ルコトニ對シテ、頗ル私ハ不滿ヲ感ズル、例ヘバ此暴力行為デモ先程山耕君等カラ質問ガアリマシタガ、勞働團體ガ資本主ニ向ッテ談判等ヲスル場合ニ於テ、一人デ行キマシテモ、其場合ニ依リ、或ハ其者ノ地位ニ依リ或ハ其平素ノ境遇ニ依テ——境遇或ハ主張ニ依テ、團體的若クハ多衆ノ威力ヲ示スト云フコトニナッテ、直ニ之ニ引ッ掛ルト云フコトモ出テ來ルノデ、是ハドウモ此點ニ關シテハ、非常ニ之ヲ憂ヘザルヲ得ナイ、單リ勞働團體バカリデハアリマセヌ、他ノ團體、思想的ノ團體、思想的ノ行為等ニ對シテモサウ云フ憂ガアルト私ハ思フノデアリマスガ、是ハ大ニ考ヘナケレバナラヌ、先質問ト致シマシテ政府ニ伺ヒタイノハ、勞働組合

法ノ如キマダ委員會モ通過シテ居ラヌ、組合法ノ如キア、云フ權利伸張ノモノガ後廻シニナツテモ、此暴力行為處罰ニ關スル法律案ヲ先ニ御通シニナルト云フコトヲ、政府ハ希望シテオキデニナルノカドウカ、之ヲ一ツ伺ヒタイノデス、第二ニ伺ヒタイノハ、「暴力團取締ニ關スル一班」ト云フ司法省カラ出シマシタ參考資料ヲ拜見シマス、第一、壯士ト稱スル政治ゴロ、第二、左傾若ハ右傾的思想臭味ヲ有スル不良者ノ集團「トアリマスガ、左傾若クハ右傾的思想主義ヲ有シテ居ル者ガ、是ハ不良者ノ集團ト直ニ御見做シニナルノハドウ云フ譯デアリマスガ、左傾思想ヲ以テ居ラウト、右傾思想ヲ持ッテ居ラウガ、或ハ中間思想ヲ持ッテ居ラウト、ドウモ不良者ト云フ譯ニハ行クマイト思フ、ソレガ一人デアルト、集團ニナラウト、不良者ト云フ譯ニハ行カナイダラウト思フ、此點ヲ伺ヒタイ、第三ニ伺ヒタイノハ、例ヘバ一人ガ參ッテ或ル一ツノ思想ヲ持チ、殊ニ一例ヲ示セバ、非常ニ或宗教ニ信仰ヲ持ッテ居ル非常ナ強烈ナ信仰、熱烈ナ信仰ヲ持ッテ居ル人ガ一人デ行ッテ、其信仰上ノ立場カラ社會上ノコトヲ判斷シテ、之ヲ或人ニ向ッテ社會上非常ニ力強い地位ニ居ル人ニ向ッテ、オ前ノ行為ガ善イトカ惡イトカ云フコトヲ盛ニ論ジ合ッタル場合ニ、其人ノ行為ハ若シ其人ガ宗教的ニ一ノ大キナ團體ト云フモノヲ後ロニ背景ニ背負ッテ

居ル人デアレバ、此人ガ或團體ト云フ名ノ下デナク、唯一人デアッテモ、自分ノ非常ナ強烈ナル信仰ノ立場カラ己ノ信條ニ基イテ其人ヲ説伏セヤウトシテ居ル場合ニ、其人ガ或團體ニ屬シテ居ルト云フ故ヲ以テ、第一條ニ觸レルト云フコトニモナルデアラウト思フ、サウ致シマス、ト云フト、自分ノ主義信條カラ他ノ人ノ間違ッテ居ルコトニ對シテ、之ヲ説伏セヤウトスルノデアアルカラ、寧ロ之ハ良イ事デハナイカ、サウ云フヤウナ場合ニナルト、斯ウ云フ善イ事マデモ暴力行為トナツテ引ッ掛ルト云フヤウナ結果ニナリハシナイカト思フノデアリマスガ、此三點ニ付テ政府ノ見ル所ヲ伺ヒタイノデアリマス

○森田委員長 第一問ノ勞動組合法ノ審議ノ進行ニ付キマシテハ、是ハ成程遅レテハ居リマスケレドモ、各政黨ニ於テ意見ノ決ラヌノガ多イヤウデアリマシテ、ソレガ爲ニ遅レテ居ルノデ、之ハ必シモ審議未了ニ終ルモノデナイト云フコトヲ御了承願ヒタイ

○安藤委員 ソレヲ政府カラ承リタイ

○森田委員長 審議ノ遅レテ居ルノハサウ云フ譯デアアル

○本田政府委員 本案ヲ出シタノハ、所謂團體ヲ背景トスル暴力取締ト云フノガ其唯一ノ原因ニナツテ居リマスノデ、勞働組合ノ議事ノ進行ガ進ンデ居ナイノニ、此法案ダケ先ニ進メルコトヲ政府ガ希望スルカト云フヤウナ御

問ヲ下サイマシタガ、ソレトハ少シモ關係ハナイノデス、勞働組合ノ法案ガ通リマシテモ、通りマセヌデモ、勞働組合ト云フモノヲ目的ニシテ此法案ヲ出シタモノデハナイノデス、總テノ團體ヲ背景ニシテ暴力ヲ振フト云フノニ、特別ナ取締ヲスルノガ此法案ノ目的デアリマスカラ、勞働組合ト云フモノヲ對象ニシテ此案ヲ造ッタル、若シ御考下サイマシタナラバ、ソレハ政府提案ノ趣旨ト全ク違フト云フコトヲ申上ゲテ置キタイ、唯先刻カラ政府委員ガ度々申上ゲマシタヤウニ、團體ノ威力ヲ示シテ、暴行脅迫、器物毀棄ト云フヤウナコトヲヤリマシタナラバ、必ズソレハ此法律ニ觸レルトシナケレバナラヌ、不良團體ト云フ看板ヲ掲ゲタモノハ、幾百ノ團體中一ツモナイガ、如何ナル種類ノ團體デモ、團體ノ威力ヲ示シテ暴行、脅迫、毀棄ヲヤッタ場合ニハ、此法ニ觸レザルヲ得ナイト云フ説明ヲ申上ゲテ居リマス、ソレハ法ノ解釋上サウナルデアラウト思フ、政府ハ勞働組合ヲ對象トシテ此法案ヲ提出シタノデアリマセヌカラ、此點ハ誤解ノナイヤウニ御願シテ置キマス、ソレカラ理由ヲ直ニ不良ト認ムルカト云フ御話デアリマスガ、是ハ別段其者ダケヲ不良トハ認メマセヌ、左傾思想デアルトカ、右傾思想デアルトカ云フモノ一ノ思想デアッテ、唯其中ニ屬スル不良ノ徒、ソレガ

行動ヲヤッテ居ルト云フノデアリマシテ、今御話ノ如ク佛教團體ノ人ガ自己ノ信ズル所ニ向ッテ、他ヲ會得サセヤウトシテ熱心ニヤッテ居ルノモ、此法ニ觸レルデヤナイカト云フ事デアリマスケレドモ、佛教團體其モノガ他ニ暴力ヲ加ヘ、他ヲ制壓スル團體デアルトモ私ハ考ヘナイ、團體ノ背景ト云フモノハ、他ヲ制壓スルニ足ル威力デナケレバナラヌ、デアリマスカラ之ヲ制壓スルニ足ル威力ヲ示シテ其犯罪ヲ行ヒマスレバ、詰リ第一條ニ當儀レバソレハ如何ナル團體タルヲ問ヒマセヌ、團體其モノ、性質ガ何モ他ヲ制壓スベキモノデナケレバ、佛教上ノコトニ付テ他ヲ説付ケルト云フヤウナ手段ヲ執ラレタカラト云フ譯デハナカラウト考ヘルノデアリマス

「森田委員長委員長席ヲ退キ山口理事代リ著席」

○安藤委員 第二ノ質問ニ對スル御答ハ分リマシタガ、私ノ質問ノ第一ノ趣旨ハ斯ウ云フノデス、詰リ國民ノ權利ニ對スル保護的法律ノ方ガ通ラナイデ、抑壓的法律ノ方ガ先ニナツテモ、政府ハソレヲ望ンデ居ルノカ、斯ウ云フ質問ナノデス、之ヲ實例ニ依テ示シマス、今同ノ第五十一議會ニ於ケル重要法案ノ一デアアル勞働立法、其中デモ爭議調停法ハ既ニ委員會ヲ通過シテ、今ヤ本會議ニ掛ラントシテ居ル、勞働組

合法ハ質問ハ濟ンデ居ルガ、何カ事情ガアルト云フコトノ爲ニ、委員會ニ於テサヘマダ討論ガ濟マナイ有様デアリマス、最早會期ガ切迫シテ居リマスカラ、此勢ヲ以テ行クト組合法ハ通過シナイ、即チ勞働團體ニ對スル所ノ保護法律デアアル、國家産業ノ發展ニ關スル所ノ最モ必要ナル重要法案デアアル、其保護法律ノ方ハ通ラヌト云フ今日ニ於テハ傾向ニナツテ居ル、然ルニ此暴力行爲取締ノ方ノ所謂抑壓令ノ法律ガドン、急イデ通ツテシマツテモ、政府ハ之ヲ喜ンデ歡迎スルカト云フ、此一點ニ對スル政府ノ腹ヲ伺ヒタイ

○立石政府委員 第一ノ御質問ニ御答ヲ致シマスルガ、政府ハ兩法案共ニ提出致シテ居ルノデゴザイマスルカラ、矢張兩方トモ通過スルコトヲ希望致シマス、何方ガ通過シ何方ガ通過シナイト云フコトヲ喜ブト云フコトハ、斷ジテゴザイマセヌト云フコトヲ御答ヲ致シマス

○安藤委員 是ハ政府ガ議會ニ提案ヲナサレマシテ、議會ガ取扱ツテ居ルノデアアルカラ、只今ノ立石サンノ御答ハサウ御答ニナルヨリ致方ガナク、又サウデアリマセウ、併ナガラ若シ此保護法ヲ早ク通過スルコトヲ望ムナラバ、内務大臣其他當局ニ於キマシテハ、實ハモウ少シ遣方ガアラウト思フ、勞働組合法ノ通過ニ對シテハ甚ダ不熱心デアアル、而シテ其方ヲ取締ラウトスレバ、是

ニモ引掛ル、此暴力行爲ハ勞働團體ノコトバカリデハアリマセヌガ、勞働團體ノコトナドモ引掛ツテ來ル、此暴力行爲ノ取締法ニ對シマシテハ非常ニ通過ヲ急ガントスル傾向ガアル、委員會ニ於テモ唯一回デ質問ヲ打切ツテシマウト云フ、委員長ナドモ頻ニ焦ツテ居ル、斯ウ云フ風ニ抑壓法ヲ急グ傾向ガアルカラ、私ハ之ヲ心配スル、今ノ立石政府委員ノ御答ハサウ御答ニナルヨリ致方ガナイガ、一方ニ對シテ熱心デ、一方ニ冷淡デアアルト云フコトヲ申上ゲテ置キタイ、是デ第一ノ質問ハ終リマス、第三ノ只今ノ本田サンノ御答ハ、是ハ宗教ノ信仰ト言ツタ、私ハ佛教ト言ツタ譯デハナイ、宗教ノ方ハ廣イ意味ナノデスカラ……

○本田政府委員 ソレハ一例トシテ申上ゲタノデス

○安藤委員 宗教上ノ信仰ト云フモノニハ威力ガアル、非常ナル威力ガアル、何モノ、威力モ私ハ之ニハ及バヌト思フ、威力ト云ヘバ是位非常ニ力ノアル威力ハナイ、而モサウ云フ熱烈ナル信仰ヲ持ツテ居ル者ガ澤山集ツタ所ノモノガ自然ニ出來テ居ル、團體ガ後ニアルトスルト、其宗教上ノ團體ト云フモノハ非常ニ力強イ威力アル團體デアアル、其團體ノ出張員デアルトカ、又ハ其代表者デアルト云フ名ノ下ニ、或ル時メク人ニ對シテオ前ノ主義ガイカヌトカ、オ前ノ遣方ガイカヌ、行動ガイカヌト

言ツテ自分ノ身上カラ割出シテ其人ヲ説伏サセヤウト努メルト云フコトハ、即チ社會ヲ善化シヤウ、美化シヤウト云フ立場カラヤルノダカラ、善良ナル行爲デアアル、其人ガ背景ノアル團體ノ代表者デナクテモ、或ハ一人デヤツテモ、或宗教ニ加ツテ居ルトスルト此第一條ノ團體若クハ多衆ノ威力ヲ示スト云フ條項ニ觸レルノデアアルカ、サウナルト此善良ナル行爲モ此法律アルガ爲ニ引掛ルト云フ憂ハナイカ、斯ウ云フコトヲ御尋スル、此點ハ如何デアリマスカ

○本田政府委員 御答致シマスガ、先刻私ガ佛教ノ例ヲ引キマシタノハ、唯宗教ノ一例ヲ申上ゲタバケデアリマシテ、別ニ他意ガアツタ譯デハアリマセヌカラ、其點ハ惡シカラズ御了承ヲ願ヒマス、法文ニ明示シテアリマセヌニ、團體ノ威力ヲ示シテ暴行、脅迫、毀棄ト云フ犯罪ヲヤツタ場合ニ、第一條ニ觸レルト云フコトニナリマス、デ御話ノヤウニ宗教ト云フモノハ非常ニ人ノ心ヲ支配スル威力ノアルモノデアリマス、ソレハ宗教トシテノ威力デアツテ、ソレヲ以テ暴行脅迫ヲスル、詰リ暴行脅迫ヲスルニ付テ人ヲ制壓スルト云フ威力ヲ宗教家ガ持ツテ居ルトハ私ハ思ハナイ、威力ト云フモノハ暴行脅迫ヲ助ケルノデアアル

「山口(政)委員長代理委員長席ヲ退キ、森田委員長復席」

暴行、脅迫ヲスルニ當ツテ相手方ノ人ヲ制壓スルダケノ威力ヲ示シテ、サウシテ罪ヲ犯シタ者ハ云々ト云フノデアリマス、假令威力ヲ用キマシテモ、善イコトヲシタ者ハ之ニ觸レル氣遣ハナイ、暴行、脅迫、毀棄ト云フヤウナ罪ヲ犯スニ付テ、又斯ウ云フ強イ力ノ背景ヲ以テ之ヲヤレバ、被害者ハ非常ニ恐怖且又被害ノ程度モ高イノデアリマス、ソレダカラ此特別法ヲ以テ罰シヤウト云フノデアリマス、目的ガ善ケレバ別段其事ハ第一條ノ規定ニハ觸レマセヌ、暴行、脅迫、毀棄ト云フコトガ必要ニナル、故ニ是ハ暴行脅迫ヲ助ケル威力ガアルト考ヘテ居リマス

○渡邊委員 私ハ實例ニ付テ御尋致シタイト思ヒマス、實例ノ中ノ暴力團體——是ハ東京辯護士會ノ提出ニ依ル實例デアリマスガ、詰リ暴行團體等ハ法律問題ニ付テハ種々アリマセウガ、最モ多クアルノハ競賣ノ關係ニ多クアルト思ヒマス、其競賣ノ際ニ執達吏ノ代理人等ガ暴行脅迫ヲ加ヘルト云フヤウナ意味デアラウト思ヒマスガ、此制度ニ付キマシテ、是ハ尤モ民事ノ關係デハナイト思ヒマスガ、矢張司法省ノ關係デアリマスカラ御尋致シマス、執達吏ノ代理人ノ制度ガ甚ダ不完備デア

ル、其關係上執達吏ノ代理人ト云フ者ガ——實例ヲ今直グ申上ゲルト云フコトハ多少考ヘナケレバナラヌガ、事實ニ於テハ執達吏ノ代理人ト云フ者ト、

常ニ競賣ニ参加スル者トガ結託ヲ爲スト云フコトハ、殆ド公然ノ事實デアアル、サウシテ債務者ニ非常ニ迷惑ヲ掛ケル事實ガアル、價額ノ何割位ノ所デ大低競賣ト云フモノハ出來テ居ル、其際ニ債務者ト致シマシテハ自分ヲ保護スルニハ何等法律上ノ關係ハナイノデアアル、自然斯ウ云フ關係上暴力團體ヲ生ジマスガ、サウ云フ者ニ或ハ依頼スルト云フ場合ガアルト云ヒマスカ、是ハ暴力團ノ弊害ノ取締ト云フヨリモ、寧ロ制度ノ弊デアルト思ヒマス、此弊ハ民事訴訟ノ改正ニ付キマシテモ、何レ改正ニナルト云フコトデアリマスガ、只今ハ御改正ニナツテ居ラヌヤウデアリマスケレドモ、此問題ガ解決シマセスト、債務者ノ立場カラ考ヘマスト、何カノ方法ヲ以テ之ヲ救ヒタイト云フ考カラ、暴力團デハナイガ、或ハ執達吏ノ代理人ト云フモノヲ多少強要スル如キ程度ノ行爲ヲシマセスト、今日デハ救済スルコトガ出來ナイヤウナ立場ニアリハシナイカト憂ヘテ居リマスガ、斯ノ如キ場合ニ、執達吏又ハ其代理人等ニ對シテ反省ヲ促スヤウナ時ニ於テモ、矢張本法ニ依テ罰スルコトニナルノデアリマスガ、此點ヲ伺ヒタイノデアリマス

シカラヌモノガアルト云フコトデゴザイマスルガ、ソレニ對シテハ、司法當局モ執達吏制度ノ全體ニ付キマシテ色モ攻究ヲシテ居リマスノデ、早晚改正ヲシナケレバナラヌ點ガ澤山アルト思ヒマスガ、私個人トシテハ、實情ハ詳細存ジマセヌノデ、只今色々ノ方面カラ材料ヲ集メテ、何等カノ改善方法ヲ攻究中デアリマスカラ、早晚何トカナルコト、思ヒマス、所デ只今ノ最初ノ御尋ガ、執達吏、又ハ其代理人デアラウトモ、或ハ其他ノモノデアラウトモ、此法案ニ該當スル以上ハ、矢張本法ニ依テ處罰スルコトハ已ムヲ得ヌコト、思ヒマス、是ダケノコトヲ御答スルヨリ致方ナイヤウナ狀態ニ在ルト存ジマス

○渡邊委員 實ハ餘リ具體的ニ申上ゲマセヌノデ、多少御了解ニナルコトガムヅカシイデアラウト思ヒマスガ、或地方デハ執達吏及其代理人ト云フ者ニ對シテハ、法律上ノ權限ノ備ッテ居ルモノデアリマスルカラ、非常ナル偏頗ナ行爲ヲ致シテモ、何等之ニ對シテ執ルベキ途ガナイノデアリマス、其際ニ債務者トシテハ能ク地方ノ親分トカ、或ハソレニ類スル者ニ頼ンデ、サウシテ餘リ偏頗ナ處理ガナイヤウニト云フコトヲ求メテ居ル地方ガアリマスガ、其際親分ヤ之ニ類スル人ミノ執リマシタ行爲ニモ、矢張此法ノ適用ガアルカ否ヤト云フコトヲ御尋シテ居ルノデア

リマス

○立石政府委員 矢張趣旨ハ同様ニナルト思ヒマスルガ、其様ナ目的ノ爲デゴザイマシテモ、第一條ニ該當スルヤウニ暴行ヲスルトカ、脅迫ヲスルト云フ如キ行爲ヲ、其親分ガ賭博仲間ト云フヤウナ團體ノ威力等ヲ用ヒテヤル場合ニハ、矢張本法ニ該當スルト申上ゲルヨリ致方ナイト存ジマス

○有馬委員 私ハ遅刻シタ爲ニ、或ハ以前ニ御質問ニナツタコトガアルカトモ思ヒマスルケレドモ、若シ重複シタ點ガアリマシタナラバ、後ニ速記録デ拜見シタイト思ヒマスガ、玆ニ參考資料トシテ御配リ下サレタモノヲ十分ニ拜見スル暇ガアリマセヌノデ、其内容ヲ詳シク存ジマセヌガ、一番初メニ御尋シタイコトハ、此法案ヲ提出サレマシタ動機ト申シマスガ、其點ニ付テ簡單ニ承リタイト思ヒマス、此法律ノ中ニ規定シテアリマスルコトハ、犯罪ノ種類ト云フコトニ付テハ從來ノ刑法ニアルコト、別ニ違ヒハナイト思ヒマスガ、唯ソレガ提案理由ノ説明ノ際ニアリマシタ通りニ、團體ノ力ニ依リ、若クハ團體ヲ背景トシテ行ハレタモノニ對シテ、特ニ重イ刑罰ヲ加ヘルト云フ意味ニ於テ、此法律ガ新ニ出來タモノト思フノデアリマスガ、如何ナル社會的ノ事實ニ基イテ、此法律ノ必要ヲ認メラレタモノデアリマスルカ、參考資料ニハ多少掲ゲテアルヤウデアリマスル

ガ、今明確ニ之ヲ知ルコトガ出來ナイカラ、斯ウ云フ法律ヲ今玆ニ設ケナケレバナラヌト云フ、社會的事實ノ主ナル點ハ如何ナル所ニ存スルノデアアルカヲ簡單ニ伺ヒタイノデアリマス

○本田政府委員 現在ノ狀態ニ於キマシテ、所謂暴行團ノ跋扈ト云フ事實ハ既ニ我人共ニ目撃スル所デアリマス、而シテ現刑法ニ於キマシテモ暴行、脅迫等ヲ爲ス者ヲソレノ罰スルコトハ御承知ノ通りデアリマスガ、暴行デアルトカ、器物毀棄ト云フノハ御承知ノ通りニ親告罪ニナツテ居リマス、暴行ヲ受ケル人ハ多クハ社會上ノ地位モ高イ人デアアル、之レヲ自カラ裁判所ニ親告スルト云フコトハ、自己ノ名譽ニ鑑ミテ爲サナイ人モ往々アルノデアリマス、又弱イ人デアルトカ云フ人ハ、親告シタナラバ非常ナル復讐ヲ受ケルト云フコトヲ恐怖シテ、之ヲ親告スルコトヲ遠慮スルト云フヤウナコトモ顯著ナル事實デアリマス、而シテ刑法ニ明ニ掲ゲテアリマスル刑ハ輕イノデ、假令團體ヲ背景トシテヤツテモ、或ハ一個人ガ暴行ヲシテモ——器物毀棄ヲヤツテモ、別ニ法律ノ上ニ於テハ其間ニ區別ガナイ、同一ニ罰スルト云フノデアリマスカラ、大體ニ於テ刑ガ非常ニ輕クナツテ居ルノデ、是デハ現在ノ暴行團ヲ處罰スルニハ不十分デアルト云フノガ、既ニ社會一般ノ輿論ニナツテ居リマス、又東京辯護士會デアルトカ、警視廳デア

トカ、始終斯ウ云フ團體ノ暴行ヲ目撃シ、接觸スル機會ノ多イ方面カラハ、特別法ヲ制定スルニアラズンバ、到底彼等ノ暴行ヲ取締ルコトハ不可能デアルト云フヤウナ申出ガ屢アッタノデアリマス、暴行ヲアル方デハ段々慣レテ來テ居ッテ、法律ノ研究モ致シテ居リマシテ、例ヘバ他人ノ家ニ飛込デ行ッテ、玄關先ニ時計ガアレバ、建造物ヲ破壊スルヤウナコトハセズシテ、其時計タル器物ノミヲ破壊スルトカ、花立ヲ蹴倒ストカ、其行爲ハ如何ニモ酷イコトヲシテ居リマスケレドモ、之ヲ刑法ノ規定ニ適用シヤウトスルト、其刑ハ甚ダ輕クシテ、彼等ヲ十分ニ取締ルコトガ不可能デアルト云フ關係ト、是等ノ事ヲ常ニ目撃シテ、干涉シテ居リマスル關係ノアル辯護士團デアルトカ、警視廳デアルトカノ意見ヲ參酌致シマシテ、特別ナル犯罪トシテ取締ルニ非ザレバ、到底個人ノ利益モ社會ノ公安モ保ツコトハ不可能デアルト云フ考デ、本案ヲ提出シタ次第デアリマス

○有馬委員 只今ノ御答ニ關聯シテ御尋致シマス、勞働團體或ハ農民團體ハ、私ガ申ス迄モナク、詰リ弱イ者ト強イ者トノ間ニ正當ナル關係ガ結バレル爲ニハ、弱イ者ガ團結シテ往クコトニヨッテ初メテ力ノ強イ者トノ間ニ弱イ者モ對等ノ契約ガ結バレルコトニナルノデアリマス、政府ガ勞働組合法ヲ制定スル趣意モソコニ在ルノデアリマ

ス、勞働組合法ノ中ニ團體交渉權ノナイ爲ニ、特別ノ規定ヲ設ケヤウトスルノモ、弱イ者ガ強イ者ニ對シテ對等ノ契約ヲスルニハ、弱イ者ガ團結スルノハ當然デアリマス、然ルニ弱イ者ノ團體ガ強イ者ト交渉ヲ重ヌルトキニ、絶對的ニ暴力的ノ行動ニ出ヅルコトハ避ケナケレバナリマセヌガ、勞働團體ガ資本金ニ對シ、或ハ農民組合ガ地主ニ對シテ交渉スル場合ニハ、勢ノ激スル所、時々場合ニ依テハ已ムヲ得ズ多少刑ニ觸ル、ガ如キ行爲ニ出ヅルコトハ、從來ト雖モ間々アッタコトデアリマス、治安警察法第十七條ノ撤廢セラレタノハ宜シイケレドモ、一方ニ爭議調停法トカ、勞働組合法ニ於テ取締ノ規定ガ出來テ、又茲ニ是ガ出來ルト云フコトニナルト、弱イ者ヲ團結ニ依テ力ノ強イモノトシテヤルノハ宜シイガ、本案ニ依テ却テ是迄ヨリモ餘計ニ束縛サレル結果ニ陷リハシナイカト云フコトヲ憂フルノデアリマス、折角政府ガ弱イ者ノ團體ヲ認メテ援助シテヤルニ拘ラズ、其反對ノ結果ヲ見ルノハ殘念デアリマス、私ハ法律ノコトハ知リマセヌガ、單獨デヤッタトキハ刑ガ輕ク、團體デヤルトキハ特ニ刑ヲ重クシナケレバナラヌト云フコトハドウ云フ理由デアリマスカ、分リマセヌカラ御尋致シマス

○立石政府委員 先程カラ其點ニ付テ多少御答ヲ致シテ居ルヤウニモ存ジマ

スガ、勞働團體其他ノ團體ニ團體權、罷業權、或ハ交渉權ヲ認ムルヤ否ヤ、尠クトモ是ハ自由ノ事トシテ認メナケレバナラナイ趨勢ニナツテ居ルノデアリマセウ、其權利ト申シマスカ、自由ト申シマスカ、ソレヲ阻止スルヤウナ考ハ此法案ニハ毛頭ナイノデアリマス、併ナガラ一個人ガ或ル目的ヲ遂行スル爲ニ暴行或ハ強迫ヲスル、即チ刑法ニ規定シテ居ル犯罪ヲシテ處罰サレルヤウナ場合ニ、多衆ノ者ガ——此勞働團體ニ付テ言フノデアリマセヌガ——多衆ガ力ヲ合セテ、ヨリ強キ勢ヲ示シテ其暴行脅迫ヲ容易ニ行フト云フ場合ニ於テハ、普通ヨリ重ク罰スルコトハ決シテ條理ニ反スルモノデナイト思ヒマス、大體勞働團體等ガ勢ノ餘ル所、此法ニ觸レルヤウナコトガアル場合ニ於テハ、其取扱ニ付テハ十分注意ヲシナケレバナラヌコトハ先程御答シタ通りデアリマスガ、併シ其場合ニアツテモ特ニ惡性ノ強イモノハ、放任スルコトハ出來ナイト思ヒマス——ソレカラ序ニ此様なコトハ申上ゲタクハナイノデアリマスケレドモ、勞働團體ノ交渉權トカ、團體權トカ、罷業權トカ云フコトハ、或程度迄ハ今認メマスカ、或ハ將來認メマスカ、ソレハ認メナケレバナラヌト思ヒマスガ、此權利ノ行使ノ爲ニ——假ニ權利デアルトシテ——罪ヲ犯スト云フコトハ矢張禁ジナケレバナラヌノデ、多衆デアルカラ罪ヲ犯シテ宜イ、單

獨デアアルカラ惡イト云フ理窟ハ出ナイト思ヒマス、殊ニ御質問ヲ聽イテ居ル間ニ浮ビマシタ感想ヲ、甚ダ僭越デアリマスガ申シマス、勞働團體、水平社ト云フモノニハ其運動ガ「デモンストレーション」トナツテ現ハレルデアリマセウ、其「デモンストレーション」ノ中ニ暴行トカ脅迫トカ云フモノガ含マレテ居ルモノデアルト、マサカ御解釋ニナツテ居ルトハ思ヒマセヌガ、私共ノ解釋ハ「デモンストレーション」トカ、示威運動ト云フモノハ唯意思表示運動、廣告運動デアツテ、吾々ノ意思ハ茲ニ在ルト云フコトヲ宣明スル運動デアアル、然ルニサウ云フモノガ附纏ツテ居ルカラ、威力ヲ用ウルコトヲ許シテ居ルノデハナイカト云フヤウニ考ヘラレテ居ラルカト思ヒマスガ、ソレハ此法律ノ立場トシテ如何デアリマセウカ、御注意ヲ願ヒタイト存ズルノデアリマス

○有馬委員 私ハ斯ウ云フコトヲ申上ゲルノハ僭越ト思ヒマスガ、或ハ私ハ考違ヒヲシテ居ルカ分リマセヌガ、苟モ團體ヲ作ツテ團體的ノ行動ニ出ヅルコトハ、威力ヲ無視シテハ團體ノ有難味モナケレバ何モナイノデアリマス、小作人ガ一人デ地主ニ交渉ニ往ッテモ、其主張ノ貫徹シナイコトハ團體ノ背景ガナイ、威力ガ無イカラデアリマス、是ガ農民組合ノ生レマシタ理由デアリマス、勿論暴行脅迫ト云フヤウナ顯著ナ事實ガアッタ場合ハ仕方ハアリマセヌ

ガ、單ニ小作料ノ値下ヲ要求スルヤウ
ナ場合ニ、單獨デヤリマシタトキニハ
割合ニ罪ガ輕イケレドモ、組合ヲ背景
ニスルコトニ依リ、組合ノ威力ニ依テ
地主ヲ動かシタト云フコトニナレバ、
罪ハ重クナルト云フヤウナコトハ、何
ダカサウ云フ人達ノ團體運動ヲ認メル
ト云フコト、兩立シナイヤウニ思ヒマ
ス、ソレ等ノ事ニ付キマシテハ、只今ノ
御意見ヲ承リマシテ強ヒテ私ハ言フノ
デハアリマセヌガ、唯私ノ感ジト致シマ
シテ、政府ハ所謂團體ノ力ヲ認メルト
云フコトハ、即チ弱イ者ニ威力ヲ與ヘ
ルト云フコトニナリ、團體運動ノ威力
ヲ用ヒルト云フコトニナルト罪ガ重ク
ナル、親告罪デナクテモ、之ヲ犯罪ト認
メルト云フコトニナリマス、助ケタ
リ壓ヘタリト云フコトノ結果ニナリハ
セムカト云フコトヲ憂ヘルノデアリマ
ス、其事ハ唯申上ゲテ置クニ止メタイ
ト思ヒマス、最後ニ私ガ一ツ伺ヒタイ
ノハ、水平運動ノコトデアリマスガ、徹
底的糾弾ト云フモノガ、今新ニ制定サ
レントスル所ノ法律ト如何ナル關係ヲ
持ツカト云フコトニ付テ、少シク御尋
シテ見タイノデアリマス、徹底的糾弾
ト云フコトハドウ云フコトデアルカト
云フコトハ、今更私ガ申上ゲルマデモ
ナク御承知ノコトデアルト思ヒマス
ガ、私ノ承知シテ居ル所デハ、一般ノ人
ガ部落ノ人ニ對シテ侮辱的ナ言葉ヲ弄
シマシタ場合ニ、部落ノ人ガ之ニ對シ

テ謝罪ヲ要求スル方法ト致シマシテ、
或ハ差別撤廢ノ講演會ヲ開カセル、或
ハ新聞ニ謝罪文ヲ掲載スルコトヲ要求
スルト云フコトガ徹底的糾弾ノ穩當ナ
ル順當ナル遣方ナノデアリマス、然ル
ニ其話ガ纏マリマセヌ、部落ノ要求ス
ル通りニ其話ガ順調ニ運ビマセヌ場合
ニ、ソコニ暴力沙汰ニ訴ヘルト云フヤ
ウナコトガ屢今迄ニアルノデアリマ
ス、所ガ其結果裁判ニ附セラレルトド
ノ様ナ結果ニナルカト申スト、侮辱的
ナ言葉ヲ發シテ部落ノ人ニ侮辱ヲ與ヘ
タ者ハ、今迄ノ法律ニ依テハ何等罰セ
ラレル所ガナイヤウニ思ヒマス、而シ
テ裁判官ガ侮辱的ナ言葉ヲ部落ノ人ニ
對シテ發シタ者ヲ取調ベマス際ニ、オ
前ハ本當ニ侮辱スル氣持デ言ッタノカ
ドウカト云フコトヲ聞イテ見マス、ト
大抵ノ人ハサウ云フ意味デ言ッタノデ
ハナイ、今迄サウ云フヤウナコトヲ言ヒ
付ケルテ居ルモノダカラ、ツイ無意識的
ニ言ッタト答ヘルノガ普通デアリマス、
何等ノ侮辱的意味ヲ以テ言ッタノデモナ
ケレバ、サウ云フ言辭ヲ弄シタト云フ
コトニ對シテ法律上ノ制裁ガナイ爲
ニ、侮辱的言葉ヲ發シタ人間ガ少シモ
重イ罪ニ罰セラレナイ許リデナク、殆
ド罪ニナラナイト云フコトガ事實今迄
ニアルヤウニ思ヒマス、然ルニ一方侮
辱的言葉ヲ受ケタ部落ノ人ノ側ニナリ
マス、其人達ガ侮辱的言辭ヲ浴セ掛
ケラレタガ爲ニ、非常ニ憤慨シテ暴行

シタト云フコトニナリマス、其暴行
ノ事實ハハッキリシテ居リマスガ爲ニ、
其者ハ今迄ノ刑法ニ依テハハッキリ處罰
サレルト云フコトニナリマスガ、今度
此法律ガ出來マシタ場合ニ、ソレト同
ジヤウナ場合ガ起ッタト致シマシテ、侮
辱的言辭ヲ發シタ所ノ一般人ノ側ノ者
ハ、何等變リガナイノデアリマス、自分
ニ侮辱的意味モナケレバ、何デモナク、
無意識的ニ言ッタノデアルト云フコト
ナラバ、其人ハ罰セラル、ト云フコト
ハ何モナイノデアリマス、所ガ部落ノ
方ノ側デサウ云フコトヲ浴セ掛ケラレ
タノデ、暴力ニ訴ヘタト云フコトハ今
ノ法律デハ罰セラレマスガ、今度此法
律ガ制定セラレルト、更ニ重イ刑罰ニ
附セラレルト云フコトニナル、是ハ部
落ノ人間ニ取リマシテハ非常ナ打撃ダ
ト私ハ思フノデアリマスガ、徹底的糾
弾ト云フモノハ、此法律ヲ御制定ニナ
ル上ニ於テ御考慮ニ御入レニナリマシ
タカ、又此徹底的糾弾ト云フモノガ法
律ニ非常ニ深い關係ヲ持ッテ居ルノデ
アリマスカドウカ

○立石政府委員 水平運動ニ付テモ色
色考慮致シマシタガ、今御問ノ趣旨ノ
ヤウナ場合ニハ、是マデモ餘程手心ガ
加ヘラレテ取扱ハレテ居ルト思ヒマス、
此法律ガ出來マシテモ、萬已ムヲ得ナ
イ惡性ノ場合ハ矢張當ルコトニナルノ
デアリマセウガ、十分ニ檢舉等ニ付テハ
慎重ニ致スコトニナラウトハ思ヒマス
ガ、モウ一ツ餘計ナコトヲ申上ゲテ問
題ニナリマシタガ、威力ト申スコトガ
暴行脅迫ノヤウナ威力ニ聞エヤシマ
イカト云フコトヲ心配シテ申上ゲタ次
第デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス
○有馬委員 今ノ水平社ノ徹底的糾弾
ニ付テモ少シ伺ヒタイノデアリマス
ガ、刑法ノ第二百二十三條ニ「人ヲシテ
義務ナキ事ヲ行ハシメ」ト云フコトガ
アリマスガ、一般ノ人ガ部落ノ人ニ對
シテ侮辱的言辭ヲ弄シマシタ場合、部
落側ノ人ガ其一般ノ人ニ對シテ謝罪ヲ
要求シ、謝罪文ノ廣告ヲ要求スルト云
フヤウナ場合ニ、侮辱的言葉ヲ發シタ
ト云フ者ニ對シテハ法律上何等ノ制裁
ガナイノデアリマスカラ、自分ハサウ
云フコトヲ強要サレルト云フ義務ハナ
イト言ッテ突ッ放シ得ルノデアリマス
カ、義務ナキコトヲ要求シタト云フコ
トニナリマスカドウカ
○立石政府委員 侮辱ヲシマスレバ矢
張侮辱罪ハ成立シマス、ソレカラ侮辱
シタ場合ニソレヲ自分デ取消ス義務ア
リヤ否ヤト云フコトハ、是ハ一寸問題
デアラウト思ヒマスガ、其取消ヲ強要
サレルト云フコトニナツタ、其手段トシ
テ暴行或ハ脅迫ヲ用ヒマスレバ、暴行
罪或ハ脅迫罪ガ成立ッデアラウト思ヒ
マス
○有馬委員 暴行脅迫ト申シマスガ、
其程度ノ問題デアリマスガ、謝罪文ヲ
新聞ニ廣告シテ吳レトカ、或ハ差別撤

廢ノ講演會ヲ開クニ付テ、其費用ヲ負擔シテ吳レト云フヤウナ事柄ハドウナリマスカ

○立石政府委員 サウ云フ場合ニハ別ニ罪ニハナラナイト思ヒマスガ、何カ犯罪ガ伴ハナイ以上ハ……

○有馬委員 此處ニアル參考資料ノ中ノ「現行法上ノ缺陷」ノ「二ノ口」ニ「直接ニ糾彈セントスルノ弊風ヲ生ジタルコト」ト云フコトガアリマスガ、水平社ノ人ガ侮辱ヲ受ケ、其侮辱ニ對シテ法律上適當ナル制裁ガナイト云フガ爲ニ、部落ノ人ガ進ンデ自分デ所謂徹底的糾彈ヲスル、斯ウ云フコトヲ當局ハ弊風ト御認メニナリマスガ、言葉尻ヲ押ヘルヤウデゴザイマスガ……

○立石政府委員 ソレモ或ハ其中ニ數ヘ込ムコトガ出來ルカト思ヒマス、併ナガラ侮辱罪ハ親告罪デゴザイマスガ、告訴ガアレバ其方デ調べマスカラ、其手段方法ヲ適正ニ取レバ差支ナイコトデゴザイマスガ、矢張是モドウ云フモノカ告訴ガ少ナイト思ヒマス、矢張ソレモ一ツノ原因ト數ヘテ差支ナイト思ヒマス

○有馬委員 ソレカラ先程本田次官ノ御答ノ中ニ、一寸耳ニ殘シタ事ガアリマスガ、部落ノ人ガ單獨デ何カ自分ノ侮辱サレタコトニ對シテ、抗議ヲ申込シタ場合ニ、其人ガ水平社ノ人デアルカドウカト云フコトガハッキリ分ラナイ場合ガアリマスガ、其人ノ背後ニ水

平社ガアルカドウカ、其人ガ果シテ水

平社同人カドウカト云フコトガ明瞭デ

ナイ場合ガ非常ニ多イト思ヒマス、部落ノ人ガ何カサウ云フ事件ガ起ツテ、法律ニ觸レルヤウナ行爲ガアル場合ニ、部落デアルト云フコトノ爲ニ部落全體ノ人ガ背景ニアルカドウカ、或ハ部落ノ人デアルカラ背後ニ水平社ガアルト云フヤウニ、簡單ニ推斷サレル虞ガ随分アルノデアリマス、是ハ水平運動、部落運動ノ實際上ノ場合カラサウ云フ懸念ヲスルノデアリマスガ、サウ云フ場合ハドウ云フ風ニナルノデアリマセウカ、單獨ノモノト認メラレマスガ、果シテソレガ本統ノ團體ヲ背景トシテ團體ノ力デ爲サレルモノカ、推斷スル標準ハドウ云フ所ニアリマスカ

○本田政府委員 是ハ第一條ノ冒頭ニ掲ゲテアリマスルヤウニ、團體ノ威力ヲ示スト云フコトガ必要條件ニナリマス、尤モ示スト云フコトハ明示ニ限ツタコトハナイ、默示モ含ミマセウ、兎ニ角團體ノ威力ヲ示シ、是ハ罪ヲ犯シタ者ハ云々ト云フコトニナツテ居リマス、只今有馬サンノ仰セニナツタヤウナ場合デ、例ヘバ水平社ノ人デモ團體ノ威力ヲ示スト云フ、明示若クハ默示ト云フ場合ハ事實問題デアリマスカラ、各事實ヲ詳細ニ取調べナケレバ是ニ當僞ルカドウカハ言ヘマセヌ、抽象的ニ申シマスルト團體ノ威力ヲ示スト云フコトガ必要條件ニナツテ居リマス、仰セニ

ナリマシタ威力ヲ示シタ場合ハドウカト云フコトハ、事實ニ依テ裁判所ガ決定スベキ問題デアリマスカラ、抽象的ニ申上ゲタ方ガ寧ロ御諒解ヲ得ルト思ヒマス、要スルニ威力ヲ示スト云フノガ犯罪ニ必要ナル條件デアリマス、明示シタ、暗ニ示シタ、其點ハ同ジデアリマス、各種ノ場合ニ此條件ヲ充セバ此法律ノ支配ヲ受ケマス、此條件ガ充タナイ場合ハ支配ヲ受ケナイト、抽象的ニ申上ゲタ方ガ却テ御諒解ヲ得ルト思ヒマス

○有馬委員 モウ一ツ伺ヒマス、刑法ノ二百二十二條ニ自由名譽ト云フコトガアリマスガ、例ヘバ水平社側カラ謝罪文ノ廣告ヲ要求サレタリ、或ハ謝マラセラレルト云フコトハ、其人ノ名譽ヲ損フト云フコトニナリマスガ、ソレヲ御尋致シマス

○立石政府委員 御尋ノ趣旨ハ水平社ノ者ガ侮辱サレタ場合ニ、謝罪文ヲ出セト言ハレタ場合ニ名譽ノ毀損ニナルカト云フコトデアリマスガ、謝罪文ト云フコト——若シソレガ惡イコトデアラナラバ、例ヘバ水平社ヲ穢多ナラ穢多ト云フコトガ名譽ノ毀損スル事項デアツテ、而シテソレニ對シテ謝罪文ヲ出セト云フコトハ、別ニ名譽毀損ニハナラナイヤウニ思ヒマスガ、謝罪文ヲ書イタ方カラ見テ私ハサウ考ヘマス

○有馬委員 私ノ申上ゲ方ガ惡カッ

タカ知レマセヌガ、侮辱的ノ言葉ヲ發シタト云フコトガ、無論法律上ノ制裁ハアリマスケレドモ、別ニ部落ノ人ヲ卑メルト云フ氣持デナクテ無意識ニ出シタ、ソレニ對シテ部落側カラ謝罪文ヲ要求サレル、強要サレルト云フコトニナルト、僕ハ何モ部落ノ人ヲ卑メル積リデナイ、ソレガ爲ニサウ云フヤウナ糾彈ヲサレルコトハナイト云フト、ソレヲ無理ニ部落ノ側カラドウアツテモ謝罪文ヲ出セト云フコトヲヤカマシク強要シテ行クト云フト、向フデハ少シモ自分ガ侮辱シタノデナイト云フノ

ニ、無理ニ謝罪文ヲ要求サレルト云フコトニナルト、自分ガ名前ヲ新聞ニ廣告スルト名譽ヲ毀損サレルヤウナ氣持ニナツテ、部落ノ人ガ名譽ヲ傷ケラレタノニ、其結果ハ却テ一般ノ人ガ名譽ヲ毀損サレルト云フ氣持ニナルト思ヒマスガ、サウ云フコトハアリマセヌカ

○立石政府委員 御問ノ筋ハ、斯ウ云フ所ニアルト思ヒマスガ、ソレニ答ゲ能ク合フカドウカ知レマセヌガ、或水平社ノ人ニ對シテ或侮辱的ノ言辭ヲ弄シタトスル、ソレハ侮辱スル意志ガナカッタケレドモ、言ハレタ水平社ノ人カラ見ルト侮辱サレタモノト感ズル、斯ウ云フ場合ニ謝罪文ヲ書ケト言ツテ書カサレル場合ニ、侮辱シタ積リガナイカラ、サウ云フコトヲ書クノハ名譽ヲ害スルモノダカラ書カナイト云フ、斯ウ云フ御問ノヤウデアリマスガ、客觀的

云フ御問ノヤウデアリマスガ、客觀的

ニ見テ、社會一般カラ見テソレハ犯罪ニナラヌデモ、犯罪ノ外形ヲ備ヘテ居ル、即チ侮辱ニナル言葉自體ガ、サウ云フ場合ニハソレヲ取消スト云フコトハ相當ナコト、思ヒマス、隨テ謝罪文ヲ書カセルコトハ差支ナイト思ヒマス、私自身トシテモ何カ惡イ氣ガアツテ言フタノデナイ、私ノ事ヲ非常ニ社會ノ人ノ目カラ見テ、侮辱的ノ言辭ヲ以テ言フタハ、冗談カ知レマセヌガ、其場合ニ謝罪文ヲ書カセルコトハ出來ルト思ヒマス

○有馬委員 モウ一ツ、先程申上ゲタヤウニ、從來水平社ノ徹底的糾弾ノ問題ニ付テハ、部落ノ側ニ於テ裁判所ノ取扱ト云フカ、所謂法律上ノ取締ト云フカ、非常ニ不公平デアルト云フ聲ガ非常ニ強イノデアリマス、ソレハ先程申上ゲタヤウニ、侮辱的言葉ヲ弄シタ方ガ無意識デアルトカ、或ハ侮辱スル意思デナカッタト云フコトヲ言ハレルカラ、裁判ノ結果ハソレハ罪ガ輕クナツテ居リマス、然ルニ侮辱ヲ受ケタ側カラ申シマスルト、其人ガ無意識デアラウト無意識デナカラウト、言ハレタコトニ依テ受ケル精神上ノ打撃ハ結局同ジデアリマス、ソレガ爲ニ部落ノ人ハ矢張サウ云フ言葉ヲ浴セ掛ケラレルト、非常ニ亂暴ナ行爲ニ出マスカラ、今度ハ部落側ハハッキリシタ暴行者ト云フコトニナツテ、其罪ハ非常ニハッキリスル、此法律ガ出來ルト更ニ重イ罰ニ掛

ケラレルト云フ結果ニナルト思ヒマス、是ハ水平社ノ人バカリデナイ、部落ノ人一般ガ非常ナ遺憾トシ、又注意シテ居ル問題デアリマスカラ、此問題ハ單ニ水平社ノミナラズ、現ニ御承知ノ通り先頃起ツタ和歌山縣ノ端場村ノ事件ノ如キハ、彼處ノ村長ノ岡本彌ト云フ人ハ御承知ノ通り頗ル穩健ナ部落ノ運動者デアツテ、水平社ヲ入レナイト云フテ排斥シタ人デアリマス、然ルニ或事件ノ爲ニ端場村ノ人達ハ態度ガ一變シ、又岡本君始メ部落ノ穩健ナル人達ガ、寧ろ水平社ノ側ニ一轉スルト云フ傾ヲ呈シタ、是ハ法律上カラ言ツテハ何等差支ナイカ知レマセヌガ、併ナガラ此水平問題、部落問題ヲ解決スル上カラ言ツテ、モット一般側ト部落側トガ法律上成ベク公平ニ取扱ハレルヤウニアリタイト云フコトヲ、切ニ希望スルノデアリマス、別ニ一般ノ側ノ人ニ對シテ特別ニ重クシテ下サイト申スノデハアリマセヌケレドモ、今般岡山縣カラ請願トシテ出テ居リマスカラ、侮辱的言辭ヲ弄シタ者ニ對シテ、特別ノ取締ヲスルト云フ法律ヲ設ケテ貰ヒタイト云フ、請願運動サヘモ起ツテ居ルノデアリマシテ、何等カ此侮辱的言辭ヲ弄スル者ニ對シテ、相當ニ重ク罰スルト云フコトニ致シテ置キマセヌト云フト、益此部落側ノ人々ノ持つテ居ル感情ト云フモノハ、惡化スルバカリト私ハ思ヒマス、此法律ニ依テ部落ノ側ノ受

ケル罪ハ從來ヨリ更ニ重クナツテ、而モ侮辱ヲ與ヘル方ノ者ハ、何等ノ變化ガナイト云フコトニナリマス、益是等ノ人々ノ思想ヲ惡クスルト云フコトニナルト私ハ思フノデアリマス、當局ガ若シサウ云フ點ニ付テ、御考慮ニナツテ居ルト致シマスレバ、ソレハ仕合デアリマス、若シナイト致シマスレバ將來ニ於テ御考慮ヲ願ヒタイト云フコトヲ、希望トシテ附加ヘテ置キマス

○山口(政)委員 晩クナツテ而モ度々相濟ミマセヌガ、重要ナ事デアリマスルカラ、一寸御尋ヲサシテ戴キタイト思ツテ居リマス、只今有馬君ト政府委員ノ質疑應答ヲ伺ツテ居リマシテ、私ハ實ハ大變ニ迷ツテシマッタノデアリマス、ソレハ第一條ノ威力ヲ示ス團體、若ハ多衆ト云フヤウナモノハ、ソレ自體ガ私共惡イト云フヤウナ觀念ヲ以テ此條文ニ對シテ居リマシタ、御示シノ參考材料ニモ壯士デアルトカ、左傾的右傾的臭味ヲ有スル不良者ノ集團、三百及ビ其輩下ニ屬スル者、博徒及俠客、マア是ハ絶對的ニ惡イト云フノデヤアリマセヌガ、斯ウ云フ比較的惡イト世間デ思ハレテ居ルヤウナ者ノミヲ私共ハ指シテ居ツテ、其多衆の色彩ヲ帶ビタ犯罪ヲ罰スルノガ、此特別立法デアルト斯ウ解釋シテ居リマシタ、併シ今日ノ質問應答ヲ伺ツテ居リマス、云フト、何カ此水平社ト一般民トノ關係ノ如キモ、此法律ニ依テ律セラレルノ

デハナイカ、又ソレヲ一ツノ目標トシテ居ルカノ如ク伺ヘルノデアリマス、先程モ御同致シマシタ如ク、勞働者ノ團體デアルトカ、小作者ノ團體若ハ水平社ノ團體、殊ニマダ伺ツタコトハアリマセヌケレドモ、朝鮮人ノ團體、斯ウ云フヤウナ者ノ團體ト云フモノヲ、若シ此特別立法デ多少デモ考慮シテ、此中ニ含マセルヤウナ意味デ御入レニナルノデアルトスレバ、恐ロシイ法律ニナルト思フ、ソレハ數人共同シテ朝鮮人ガ二人若クハ三人集合シテ、暴レ込ンデ非常ナル重イ罪ヲ受ケタナルト、是ハ朝鮮統治ノ上ニ於テハ重大ナ關係ガアル、隨ヒマシテ此法律ノ骨子ハ、矢張御列記ノヤウナ社會通念上惡イ者デアアル、斯ウ云フヤウナ事ガ前提トサレテ居ラナケレバナラヌト考ヘマス、サウ解釋シテ宜シイノデアリマスカ、其點ヲ——屢御同致スヤウデアリマスガ、改メテ御伺シテ置キマス

○立石政府委員 先程モ御答致シタヤウニ思フテ居リマスガ、此法律ハ決シテ善良ナル團體ノ、團體運動其モノヲ彼はレスル目的デハナイ、是ハ幾度モ繰返シテ申シマシタガ、今御話ノ如クニ朝鮮人、水平社、其他勞働者、總テ世間カラ——勞働團體ハサウデハナイデセウガ、少クモ茲デ忌憚ナク申上ゲレバ水平社、或ハ朝鮮人ニ對シテハ、一種差別的觀念ヲ持つテ居ルヤウデス、是ハ確ニアリマス、是ハ直サナケレバナリ

マセヌ、其爲ニ色ニ反抗的ノ犯罪ガ起ルノデアリマス、是亦ソレガ主ナル原因ニナツテ居ルデセウ、ソレヲ特ニ取締ルト云フ目的ノ爲ニ此法ガ出來タノデハ毛頭ゴザイマセヌ、併ナガラ朝鮮人ノ團體デアルカラ、特ニ此犯罪ニ該當シテモソレハ罪ニナラヌト云フ譯ニハドウモ行カヌダラウト思ヒマス、其點ハ檢舉ノ取扱振ニ信賴シテ戴クヨリ仕方ガナイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○山口(政)委員 能ク分リマシタ、詰リ朝鮮人デアッテモ、若クハ水平社デアリマシテモ、勞働組合ノ人デアリマシテモ、ソレガ此列記ノヤウナ不良——

惡イ部分ノ者ハ此法律デ取締ル、斯ウ云フノデアリマス、能ク御説明ハ分リマシタ、ソレカラモウ一、二點ゴザイマスガ、此刑法ノ二百二十三條デハ未遂罪ヲ罰シテ居リマスガ、是ハ規定ガナイカラ未遂罪ハ一切罰シナイコトニナルノデスカ、ソレカラ第三條ノ金品其他ヲ貰ヒマシタ者ガ第一ノ罪ヲ犯シマス、併合罪ニナリマスナ

○立石政府委員 御答致シマス、第三條ノ罪、金ヲ貰フテ第一條ノ罪ヲ犯シタ者、是ハ第一條ノ方ニ吸收サレテ差支ナカラウカト思ッテ居リマス

○山口(政)委員 先般原君ノ御尋モアリマシタガ、其際關聯シテ御確メシヤウト思ヒマシタガ、第三條ノ罪ヲ獨立罪ト致シマシタ理由ヲ簡明ニ伺ヒタイ

御尋デゴザイマシテ、第三條ノ罪ハ色ノモノガ包マレテ居リマスガ、要スルニ第三條ハ此處ニ列舉シテアリマスルヤウナ各條ノ暴力的犯罪ヲ、第一條ニ掲ゲラレテ居リマスルヤウナ手段方法ニ依テ犯カサセルコトヲ獎勵スルト言ヒマセウカ、結局金ヲヤツタリ、骨ヲ拾ッテヤルトカ、後ヲ引受ケテヤルト云フヤウナ場合ハ、自然獎勵スルコトニナル、ソレハ矢張取締ラナケレバナラヌト云フノガ根本ノ趣旨デアリマス、ソレガ可ナリ多イト云フコトニ聞イテ居リマスノデ、ドウシテモ是ハ必要デアリマス

○山口(政)委員 サウ致シマス、ト云フト、百九十九條ノ場合ナトデハ大抵此第三條ノヤウナ行爲ハ教唆カ、或ハ幫助、或ハ煽動ト申シマス、サウ云フヤウナモノニナルト考ヘマスガ、最モ重イ罪ヲ規定サレテ居リマス、百九十九條ノ場合ニハ、其行爲ガ教唆ニナリマス、普通刑法ノ教唆罪デ重ク罰セラレテ居ル、此適用ガナイト云フコトニナリマス、御趣旨トシテハ極メテ明瞭ニ分

リマシタガ、此關係ハ私共能ク考慮致シマスガ、意見ノ相違デアルカモ分リマセヌガ、私ガ今一寸考ヘ付イタノデアリマスガ、教唆トカ幫助ト云フ場合ニハ、第一條ノ罪ヲ犯サヌト云フトソ

レガ成立セヌ場合ガ能クアルデスネ、ソレハ獨立罪トスルノガ此法律論トシテハ正當デハナイカト思ヒマスガ

○立石政府委員 御答致シマス、御説ノ通りソレモ含ンデ居リマス、ソレカラ先程一條ト三條ノ關係ニ付テ一概ニ總テノ場合ニ付テ御答ヲシタヤウデアリマス、場合ニ依ルト併合罪ニ此條文ノ關係上ナルコトモアラウト思ヒマス

○山根委員 重ネテ第一條ノ意義ヲモウ少シ明ニ致シテ置キタイト思ヒマス、第一條ノ要項ハ四ツアルト思ヒマス「團體若ハ多衆ノ威力ヲ示シ、團體若ハ多衆ヲ假裝シテ威力ヲ示シ、兇器ヲ示シ、又ハ數人共同シテ」此四ツガ別々ニ刑法第二百八條以下ニ係ルノデアリマス

○立石政府委員 是ハ先程御答致シマシタ通りデアリマス

○山根委員 サウスルト原君ノ質問ニ對シテ御答ニナツタト云フコトデアリマスガ、サウシマス、ト云フト、文書ノ上カラ言フト、初メハ第一、第二、第四、是ハ何レモ數人ノ問題ニ係ル、即チ多人數ニナツテ居ル、然ルニ第三ガ途中ニ挾ツテ「兇器ヲ示シ」トナツテ居ル、是ハ

法文ノ體裁ガ少シ可笑シイヤウニ思ヒマスガ、何等カソコニ意味ガアツテ、多數ナラザル一人ノ問題ヲ途中ニ挾ンダノデアリマス

○立石政府委員 別ニ意味ガアツテヤッタノデアリマス、出來ルナラバ左ノ方法ヲ以テ爲シタル者ハ云々、一、二、三、四ト列ベテ差支ナイノデアリマス、條文ノ取扱上斯ウ云フコトニ致シタノ

デアリマス、竝ベタニ過ナイノデアリマス

○山根委員 第四項ニ、數人共同シテトアリマスカラシテ、是ハ先程カラノ原君トノ應答ニ依リマシテ、二人デモ成立スルト云フコトデアル、サウシマス、ト刑法第二百八條デアリマスガ、玆ニ現ハレテ居ル條文ヲ適用スベキ場合ハ、二人以上デアレバ此法律ニ引掛カルモノデアル、隨テ刑法ノ本條ニアルヲ以テ爲シタル場合ニノミ限ラレルコトニナツテ、範圍ガ縮小サレルヤウニ思ヒマスガ、政府ノ御所見ヲ伺ヒタイ

○立石政府委員 或ハ文字ノ現シ方ガ惡イノカモ知レマセヌガ、此様ナ用例モアリマス、是ハ數人共同ト云フコトハ、數人ガ現實其場ニ於テ會合シタト云フノデアリマス、一人ガ家ニ居ッテ一人ガ行ッタト云フ、此場合ハ這入ラナイ積リデアリマス

○山根委員 ソレハ其位ニ致シテ置キタイト思ヒマスガ、今玆デ斯ウ云フ疑ガアルト云フコトデアリマスカラ、伺ッテ置キタイト思ヒマスガ、勞働爭議ノ場合ニ於テ或ル條件ヲ勞働組合ガ提出シテ、其談判中ニ於テ、斯様ニ言ッタルバ壓迫的態度ニナルカト云フ質問デアリマス、此要求ヲ容レナイナラバ斷然罷業ヲ斷行スル、斯ウ云フコトヲ主張スル、即チソレハ資本主ニ對シテハ、大ナル損害ヲ受ケルノデアリマス、ソレ故ニ損害ヲ受ケル恐ロシサニ其要求

ヲ容レル、サウ云フコトニナレバ團體
ノ力ヲ以テ財産ニ損害ヲ與ヘル、脅迫
シタト云フコトニナルト考ヘマスル
ガ、政府ノ所見如何、之ヲ伺ヒタイ

○立石政府委員 罷業ヲ相當ノ範圍内
ニ於テ認メル以上ハ、單ニ罷業ヲスル
ダケハ脅迫ニハナルマイト思ヒマス
○山杣委員 其言明ヲ得マシタコトニ
依テ質問ヲ打切リマス

○森田委員長 質問モ盡キタヤウデア
リマスガ、尙ホ各自ノ考ヲ纏メル必要
モアラウト思ヒマスノデ、本日ハ是デ
散會シテ、質問ハ是デ大體盡キタモノ
ト思ヒマス、或ハ次ノ討論ノ日ニ於キ
マシテ簡單ナ質問ガアリマシタナラ
バ、是ハ前例モアリマスカラ許スコト
ニ致シマス、本日ハ是デ散會致シマス

午後四時十六分散會

大正十五年三月十九日印刷

大正十五年三月二十日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社